

日時：平成26年12月19日(金)13:00～

場所：上川総合振興局 3階 講堂

大雪山国立公園 表大雪地域 登山道関係者による情報交換会

次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 情報交換
 - ・ 大雪山国立公園における登山道管理水準について
 - ・ 各団体の平成26年度活動内容について
 - ・ 各団体の平成27年度活動予定内容について
4. 各山域における課題共有のためのグループディスカッション
 - A：黒岳・旭岳・トムラウシ山周辺地域
 - B：十勝岳連峰地域
5. その他
6. 閉会

大雪山国立公園 表大雪地域 登山道関係者による情報交換会
出席者名簿

所属	出席者 役職
上川中部森林管理署	
上川南部森林管理署	
上川総合振興局 環境生活課	
上川総合振興局 南部森林室	
富良野市	
上川町	
東川町	
美瑛町	欠席
上富良野町	
南富良野町	欠席
公益社団法人 日本山岳会 北海道支部	欠席
旭川山岳会	
上川山岳会	欠席
美瑛山岳会	
上富良野十勝岳山岳会	欠席
富良野山岳会	欠席
勤労者山岳連盟 道央地区	
旭川勤労者山岳連盟	欠席
黒松内 銀竜草の会	欠席
自然公園指導員	
旭岳ビジターセンター	欠席
層雲峡ビジターセンター	
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	
大雪山国立公園研究者ネットワーク	
北海道大学大学院	
山のトイレを考える会	
北海道高山植物ネット	欠席
株式会社りんゆう観光(層雲峡事業所)	
ワカサリゾート株式会社(旭岳ロープウェイ)	欠席
(有)風の便り工房	
山樂舎BEAR	
北海道山岳整備	
大雪山倶楽部	
有限会社アグリテック	
NPO法人ねおす「大雪山自然学校」	
NPO法人アースウィンド	
大雪と石狩の自然を守る会	
東川エコツーリズム推進協議会	
北海道山岳ガイド協会	
東大雪地区連絡調整室	
山岳ガイド 塩谷 秀明	欠席
山岳ガイド 鳥羽 晃一	欠席
株式会社ニュージェック	
有限会社自然環境コンサルタント	
株式会社北都エンジニアリング	
平井建設工業株式会社	
上川自然保護官事務所	
東川自然保護官事務所	
上士幌自然保護官事務所	

平成26年12月19日

大雪山国立公園 表大雪 登山道関係者による情報交換会
登山道作業・活動内容

所属	平成26年度活動場所・内容	平成27年度計画
環境省 上川自然保護官事務所 東川自然保護官事務所	別紙の通り ※資料2-1、2-2	
上川中部森林管理署		
上川南部森林管理署	・十勝岳、富良野岳、上ホロカメツク山、三段山の歩道の簡易な補修 ・登山者への普及活動	今年度と同様
上川総合振興局 環境生活課	別紙の通り ※資料3	
上川総合振興局 南部森林室	旭岳地区の森林巡視・普及活動を13日間	今年度と同様
富良野市	原始ヶ原滝コースの丸太橋のかけ替え作業	
上川町		
東川町		
美瑛町	・6月15日 十勝岳山開き(望岳台～十勝岳山頂) ・7月9日 十勝岳愛護少年団 親子登山(望岳台～避難小屋) ・10月10日十勝岳避難小屋への防災用品(ヘルメット・水・毛布等)運搬	山開きと、十勝岳愛護少年団の活動
上富良野町		
公益社団法人 日本山岳会 北海道支部	北海道より受託された高山植物盗掘防止パトロールを30名の会員で140日間実施。高山植物盗掘防止パトロールの他に利用者指導も行った。	
旭川山岳会		
美瑛山岳会	別紙の通り ※資料4	
勤労者山岳連盟 道央地区		
層雲峡ビジターセンター	自然観察会等を18回開催。	
大雪山国立公園 パークボランティア連絡会	別紙の通り ※資料5	
北海道山岳ガイド協会 東大雪地区連絡調整室		
大雪山国立公園 研究者ネットワーク		
北海道大学大学院	大雪山の登山者の意識調査実施:環境省の利用実態調査と連携し、層雲峡温泉、旭岳温泉、トムラウシ温泉にて下山者に利用実態や登山道の整備意向を当意識調査を実施。現在、分析中。調査報告の報告会を計画中。	・大雪山国立公園の登山者参加型調査『山レポ「お宿帳」』の工法と継続 ・登山道整備に関わる方々のインタビュー及び意識調査を計画中
山のトイレを考える会	・旭岳RW, 旭岳VC, 黒岳RW, 黒岳石室、層雲峡VC, 銀泉台登山事務所、緑岳事務所、ヒグマ情報センター、高原山荘、白雲岳避難小屋、愛山溪倶楽部に風の便り工房の協力によりトイレマナー袋1200枚配置。9月7日、山のトイレデー実施。旭岳RW, 層雲峡RW, 緑岳、ニセイカウシュッペにてトイレマップ他の資料を配付し、登山者に啓発と清掃活動を実施。	・9月第一日曜日に山のトイレデーの実施 ・各所にマナー袋、トイレマップの配置 ・美瑛富士避難小屋の利用状況調査と清掃等
株式会社りんゆう観光 (有)風の便り工房		
山楽舎BEAR	夫婦池から涸れ沢を渡った辺りで環境保全登山・登山道整備ツアーを実施	環境保全登山、登山道整備の実施場所は未定
北海道山岳整備 大雪山倶楽部	別紙の通り ※資料6	
TREE LIFE		
有限会社アグリテック		
NPO法人アースウィンド		

NPO法人ねおす 大雪山自然学校	別紙の通り ※資料7	
NPO法人かむい		
NPO法人アースウィンド		
大雪と石狩の 自然を守る会		
東川エコツーリズム 推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・7月～9月姿見園地でミニガイドツアー ・9～10月天人峡・三十三曲り登山道～滝見台ツアー ・10月～11月キトウシ登山ツアー ・5月勇駒別湿原ガイドウォーク ・町内カフェでの座学講座、旭岳クロカンコース整備、登山地図発行 	今年度と同様 フットレックツアーも行う予定
ガイドオフィス 風	山岳ガイド案内(旭岳、黒岳、白雲岳、トムラウシ山、十勝岳等)登山道整備状況やトイレの情報をゲストに伝えている	全域でガイド予定
株式会社ニュージェック		
有限会社 自然環境コンサルタント	黒岳トイレのくみ取りボランティアに1回参加	
株式会社 北都エンジニアリング		
平井建設工業株式会社	中岳温泉～中岳分岐間での環境省発注工事	

北海道地方環境事務所 平成 26 年度実施大雪山国立公園関連事業

※ __箇所は、情報交換会後に実施予定、または現在実施中

北海道地方環境事務所

①グリーンワーカー事業

・清掃活動事業

層雲峡、勇駒別、糠平、十勝三股の集団施設地区、利用拠点の美化清掃事業

・高山蝶重点パトロール

残雪期の山中泊を含む高山蝶パトロール事業

・登山道維持業務

美瑛富士登山道における協働型作業の支援、姿見～当麻乗越・間宮岳分岐～中岳分岐・原始ヶ原(滝コース)・ユニ石狩岳登山道(十勝側)の補修事業やササ刈り・倒木処理事業

・登山道利用状況調査

登山者カウンター設置による入山利用者の把握事業

・スノーモビル対策事業大雪山系全体の飛行監視、乗り入れ頻度の高い箇所での地上パトロール

②自然ふれあい事業

・パークボランティア活動事業

・80周年記念事業

1. 大雪山国立公園山岳風景写真展(新宿御苑インフォメーションセンター)

6月3日～8日、新宿御苑インフォメーションセンター・アートギャラリーにて志賀芳彦氏、市根井孝悦氏、奥田實氏他の写真等を展示し、佐久間弘氏、植田拓史氏の講演を実施。

2. 80周年記念スタンプラリー大雪山国立公園内に位置する3つのビジターセンターと参加温泉施設を数カ所巡るとオリジナル手ぬぐいのプレゼントや特産品等の抽選応募となるスタンプラリーを平成27年1月31日まで実施している。

3. 80周年式典及びウォーキング大会

上士幌町等との共催により、9月6日(土)、7日(日)に上士幌町ぬかびら源泉郷にて記念式典及びウォーキング大会を開催した。式典では茂木健一郎氏による講演、ウォーキング大会前には小菅正夫氏による記念講演が行われた。

4. 大雪山国立公園80周年記念山岳風景写真展(東川町モンベル大雪ひがしかわ店)モンベル大雪ひがしかわ店において、12月18日(木)～1月18日(日)まで、山岳風景写真展を実施する。

5. 80周年記念 近自然工法による登山道保全講習会

東大雪地域における近自然工法の認知度を上げるため、鹿追町において合同会社北海道

山岳整備 岡崎氏による講演会を開催した。

6. 80周年記念 トムラウシスノーシューツアー

トムラウシ山の温泉コースの魅力を再認識すべく、登山口から短縮コース分岐までのスノーシューツアーを新得山友会とともに開催する。

7. 80周年記念 大雪山の魅力再発見！シンポジウム

指定80周年を機に大雪山国立公園の魅力について再認識すべく、上士幌町ぬかびら源泉郷において、地元学芸員による研究成果発表やネイチャーガイド等による講演の機会としてシンポジウムを開催する。

8. 80周年記念 セイヨウオオマルハナバチについて学ぶ講演会

毎年、地元農家・農協等を含め有志をつのってセイヨウオオマルハナバチ防除活動を行っているが、活動の重要性や今後の方向性を再認識すべく、国立環境研究所 五箇氏による講演会を開催する。

・外国人来訪者受入れ事業

1. ビジターセンターへの外国語対応スタッフの配置

層雲峡ビジターセンター、ひがし大雪自然館(4月～9月)に外国語対応スタッフを配置し、案内業務、館内展示解説、利用者意向の聞き取りなどを行う。

2. 外国人利用者受入環境整備方策検討調査

層雲峡集団施設地区を対象として、外国人に提供可能なサービスの把握と、外国人来訪者の意向確認を行い、サービスのマッチングを図るための調査を実施する。

・国立公園を核とした情報発信モデル事業

高原温泉地区、層雲峡地区等における自然景観資源、人的・社会的自然に関する調査及びエコツアーのモデルコースの設定

・こどもパークレンジャー

1. 上士幌管内

しかおいジオパークと連携して自然観察会、ウチダザリガニ防除活動・フィギア制作の実施

2. 上川管内

上記国立公園を核とした情報発信モデル事業と連携した小中学生向け企画の実施

③野生生物の保護管理事業

・外来種対策事業※パークボランティア活動と連携

セイヨウオオマルハナバチ防除事業

然別湖ウチダザリガニ防除事業

・国指定鳥獣保護区管理

高原温泉ヒグマ情報センター、白金野鳥の森休憩舎等の管理

高原温泉地区を中心とした表大雪のヒグマ保護管理方針の検討

④主な施設整備・維持管理事業

【山岳部】

・登山道管理水準・技術指針の再検討

登山道の管理レベルの見直し、管理レベルに応じた補修方法、管理方法等を定めた技術指針の再検討

・中岳温泉～中岳分岐、沼ノ原の登山道整備

・沼ノ平～姿見の池、トムラウシ登山道の巡視及び泥濘箇所修繕

【山麓部】

・層雲峡ビジターセンター多言語情報提供システム導入

・勇駒別博物展示施設基本設計

・既存施設活用等設計業務：十勝三股

北海道地方環境事務所 平成 27 年度実施大雪山国立公園関連事業(予定)

北海道地方環境事務所

①グリーンワーカー事業

・清掃活動事業

層雲峡、勇駒別、糠平、十勝三股の集団施設地区、利用拠点の美化清掃事業

・高山蝶重点パトロール

残雪期の高山蝶パトロール事業

・登山道維持業務

美瑛富士登山道における協働型作業の支援、原始ヶ原(滝コース)・石狩岳シュナイダーコース

登山道の補修事業やササ刈り・倒木処理事業

・登山道利用状況調査

登山者カウンター設置による入山利用者の把握事業

・スノーモビル対策事業

大雪山系全体の飛行監視、乗り入れ頻度の高い箇所での地上パトロール

・東雲湖周辺歩道の植生及び洗掘状況調査

東雲湖に至る歩道を外れてできた踏み分け道周辺について洗掘状況等を調査

・ラジコンヘリによる撮影行為の適正化対策事業

上川地区でのラジコンヘリ撮影の地域ルールの周知(チラシ配布等)

・美瑛富士避難小屋のし尿対策事業

美瑛富士避難小屋近辺に携帯トイレブースを設置、利用状況調査の実施

②自然ふれあい事業

・パークボランティア活動事業

・こどもパークレンジャー

上川管内

高原温泉地区で野生動物とのつきあい方を登山しながら学ぶ企画を想定

③野生生物の保護管理事業

・外来種対策事業 ※パークボランティア活動と連携

セイヨウオオマルハナバチ防除事業

然別湖ウチダザリガニ防除事業

・国指定鳥獣保護区管理

高原温泉ヒグマ情報センター、白金野鳥の森休憩舎等の管理

④主な施設整備・維持管理事業

【山岳部】

- ・沼ノ平～姿見の池、沼ノ原、間宮岳分岐～中岳分岐～中岳温泉、トムラウシ登山道の巡視及び
泥濘箇所修繕

【山麓部】

- ・勇駒別博物展示施設実施設計
- ・天人峡羽衣の滝遊歩道橋梁実施設計・工事

平成 26 年度大雪山国立公園関連事業実施内容

北海道上川総合振興局

(平成 27 年度計画事業は (※H27) と表記)

1 道有施設維持管理

① 公衆トイレ

大函園地、銀河流星の滝園地、層雲峡野営場、高原温泉園地、石北峠園地、勇駒別駐車場、天人峡園地(羽衣の滝)、白金温泉駐車場、望岳台園地、吹上温泉園地 計 10 箇所

- ・ 供用開始(水出し)及び閉鎖(水落とし)作業(※H27)
層雲峡野営場、白金温泉駐車場、望岳台園地
- ・ 浄化槽保守点検業務(※H27)
銀河流星の滝園地、層雲峡野営場、白金温泉駐車場、吹上温泉園地
- ・ 望岳台トイレ使用水供給委託業務(※H27)
望岳台トイレ使用水供給元の望岳台レストハウス休止による使用水運搬業務
- ・ 補修 望岳台園地(小便器漏水)、層雲峡野営場(水道メーター取替)
- ・ 閉鎖 大函園地 H25 中途から使用水停止により閉鎖、H26 継続
勇駒別駐車場 H26 中途から使用水停止により閉鎖
天人峡園地(羽衣の滝) H25.5 土砂崩れ以降、遊歩道通行止めにより閉鎖、継続

② 山岳トイレ

層雲峡勇駒別線歩道(黒岳バイオトイレ)、忠別岳避難小屋、白雲岳避難小屋、上ホロカメットク山避難小屋のほか旭岳石室携帯トイレブース

- ・ 黒岳バイオトイレ汲み取り清掃(※H27)
作業者: 上川町、層雲峡観光協会、NPO 法人カムイ、上川総合振興局等 10 名程度
作業内容: 6/26 供用開始(10 名)、7/16 第 1 回清掃(9 名)、7/25 第 2 回清掃(11 名)、
8/14 第 3 回清掃(9 名)、8/28 第 4 回清掃(8 名)、9/11 第 5 回清掃(9 名)、
9/30 第 6 回清掃(15 名)、10/1 へり荷上げ、荷下げ(11 名)
- ・ 旭岳石室携帯トイレブースドア補修 H26.8.13 強風で破損したドアを職員実行で補修

③ 登山道など

- ・ 天人峡遊歩道入口ゲート設置 H26.4.28 設置 進入及び危険防止のため設置
- ・ 天人峡遊歩道土留柵設置 H26.10.29~H26.11.28 落石及び土砂流出防止のため歩道の一部へ設置
- ・ 天人峡化雲岳線三十三曲り歩道補修参加 H26.8.22 丸太階段補修、倒木処理等
- ・ 高原温泉簡易橋梁設置(※H27) H26.6.17 設置、8.6 大雨で一部破損、8.22 補修
■ H26.10.10 撤去 ヒグマ情報センターの協力により職員実行で実施
- ・ 高原温泉歩道利用者指導委託業務(※H27)
H26.8.22~H26.10.6 歩道利用者への注意喚起等指導業務
- ・ 北鎮岳分岐標識補修状況確認 → H26.6.26 良好(H25.8.29 職員実行で補修)
- ・ 旭岳温泉地区遊歩道見晴し台コース木橋補修 H26.8.13 職員実行により折れた丸太橋へ角材で補強
- ・ 姿見園地 夫婦階段等補修 H26.9.3 北海道山岳整備岡崎氏の指導により旭岳山岳会、旭川勤労者山岳会、大雪山倶楽部、NPO 法人ねおす、(有)アグリテック、東川町、環境省上川・東川自然保護官事務所の協力で補修
- ・ 通行止め措置 H25.5~天人峡遊歩道 土砂崩れ確認以降遊歩道閉鎖、継続
(H26.5.27 通行止め案内看板設置 3 箇所)
H26.8.27 旭岳温泉地区遊歩道クマゲラコース(危険箇所有り)

④ 旭岳ビジターセンター

- ・ 管理運営委託業務(※H27) 施設の保守管理及び利用者に対する解説業務等 H26.4.1~H27.3.31
- ・ 屋根補修 H26.6.2 融雪時に屋根がずり落ちたもの
- ・ 屋根雪下ろし(※H27) H27.2 ~ H27.3 2~3 回実施予定 職員実行

2 高山植物保護対策事業（高山植物盗掘防止パトロール）（※H27）

登山口に「盗掘防止パトロール中」ののぼりを掲げ盗掘抑止を図るとともに、環境省自然保護官事務所や警察署、森林管理署、市町村などと合同で登山口や登山道において、登山者へパンフレット「高山植物を守るために」の配布等により高山植物保護の呼びかけを実施した。

実施日	実施時間	実施場所	参加機関	参加人数
		表大雪	環境省東川自然保護官事務所、上川南部森林管理署、日本山岳会北海道支部、上富良野山岳会、上川総合振興局（環境生活課・自然保護監視員）	17名
		表大雪	上川中部森林管理署、上川総合振興局（環境生活課・自然保護監視員）	5名
		表大雪	環境省東川自然保護官事務所、上川総合振興局（環境生活課ほか、自然保護監視員）	6名

3 スノーモビル対策（※H27）

一斉合同パトロール H27.2 実施予定のパトロール参加予定

環境省 上川・東川・上土幌自然保護官事務所主催

関係機関：警察、国有林、市町村、山岳会、日本スノーモビル安全普及協会北海道支部、振興局
大雪山地区自然公園指導員連絡協議会、大雪山国立公園パークボランティア

4 外来種対策（セイヨウオオマルハナバチ）（※H27）

① 監視活動 春と秋に実施 H26.5.17(土) 東川町開拓記念羽衣公園 雨天中止

H26.9.13(土) 上富良野町日の出公園 14名参加 46頭捕獲

② モニタリング報告会 H27.3.26(木) 振興局で開催予定 関係機関の取り組み報告、意見交換

5 地域振興種対策

① 大雪山の魅力再生事業

大雪山周辺地域の魅力のPRや自然環境の保全意識の啓発を図るため、H26.9.6（土）にサッポロファクトリーにおいて講演会及びPR展を開催

- ・講演会 講師 伊藤 健次氏 サッポロファクトリールーム
- ・トークイベント 写真家 山本 行秀氏 ファクトリーアトリウムステージ
- ・パネル展 大雪山山岳・動植物等パネル写真展示
- ・ステージイベント 大雪山に関するクイズ出題、景品は管内特産品

※H27 自然観察会、携帯トイレ普及啓発、大雪カムイミントラPR活動実施予定

② 天人峡地区（大雪山）魅力発信人材育成事業（緊急雇用創出推進事業）H26.6.11～H26.12.26

大雪山とりわけ天人峡地区の魅力を道民のほか幅広い利用者に発信することで地域づくりを進めるため、映像の作成 発信及びツアーの企画・実施の中で人材を育成する目的で事業を実施

- ・魅力発信映像の企画立案、映像作成 YouTube等で発信、DVDを作成し観光関連施設に配布
- ・天人峡地区を中心とした自然観察ツアーの企画立案、広報により集客、ツアーの実施

◇ 平成26年度 旭岳姿見園地 夫婦階段等補修ボランティア作業 ◇

作業日 : 平成26年9月3日

主催者 : 北海道上川総合振興局

参加者 : 山岳関係者(別表)

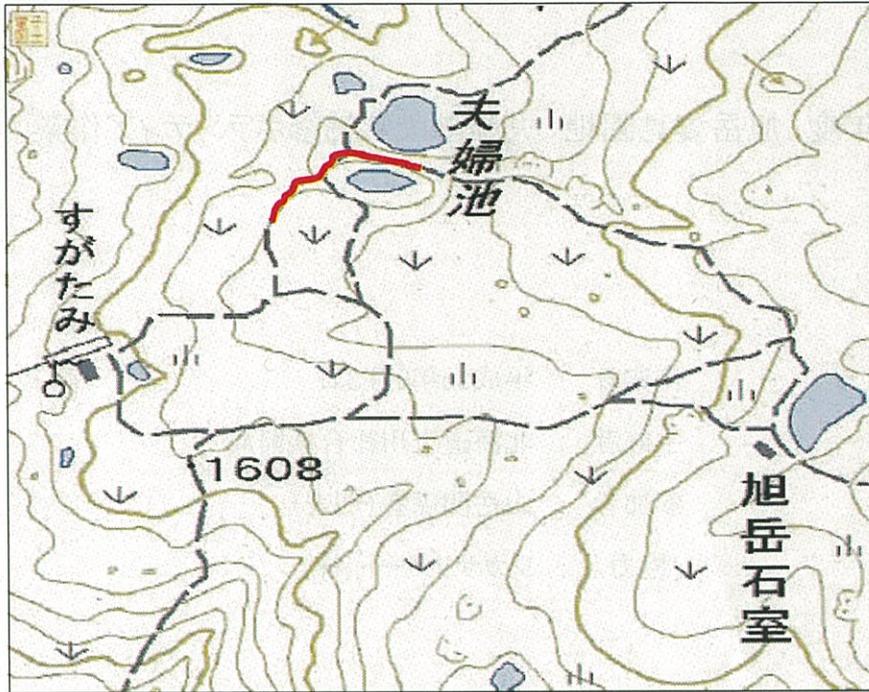
協力 : ワカサリゾート(株)

◇ 平成26年度 旭岳姿見園地 夫婦階段等補修ボランティア作業 ◇

作業日 : 平成26年9月3日

作業内容 : ・雪解け時期における夫婦階段の崩れを防止する。
 ・階段等の高い段差を解消し歩行しやすくする。

作業場所 : 赤線部、夫婦池付近の木柵階段や石組階段の補修



施工内容

夫婦階段	木柵階段の侵食防止	木柵・石組み階段7段施工
段差処理など	木柵・石組み階段15段施工	水たまり対策

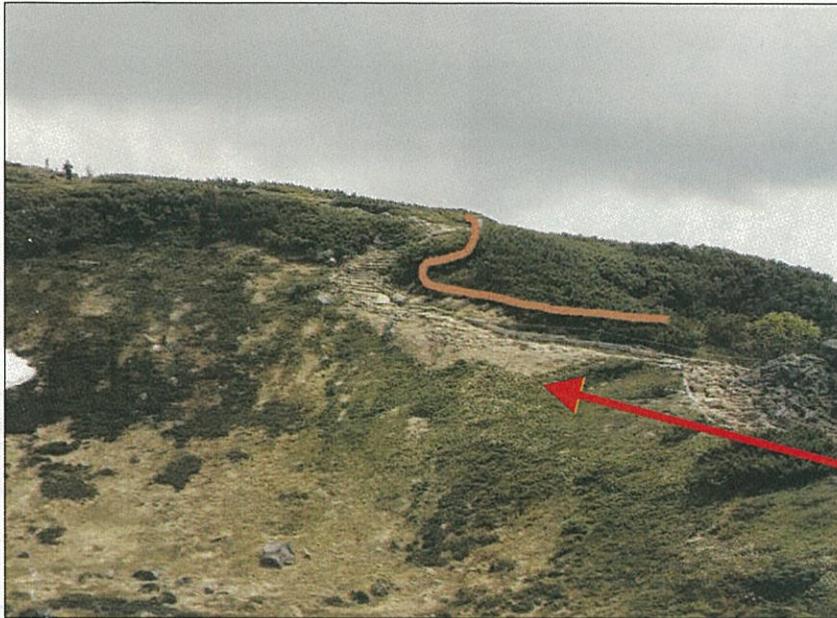
参加者

NO.	所属	氏名
1	旭川山岳会	土屋 勲
2	旭川勤労者山岳会	坂本 恵理子
3		沢田 修一
4		日蔭 正
5		長瀬 一男
6		鶴岡 正子
7		愛澤 美知雄
8	大雪山倶楽部	東倉 洋治
9		真鍋 茂
10	NPO法人ねおす	小沼 秀樹
11		藤 このみ
12	(有)アグリテック	石川 良太
13	北海道山岳整備	岡崎 哲三
14	東川町 産業振興課	朝倉 祥貴
15	環境省 上川自然保護官事務所	野川 裕史
16	環境省 東川自然保護官事務所	岸田 春香
17		渡邊 あゆみ
18	上川総合振興局 環境生活課	端場 強実
19		志水 洋平

写真・記録・施工指導:北海道山岳整備/岡崎哲三

施工前の状況(夫婦階段について)

斜面にある急傾斜の階段。
毎年融雪時期に崩れることが多く、階段の背面にある土壌が流され植物帯が埋まってしまっていた。



線部が夫婦階段修繕箇所。
毎年、階段が崩れ土砂が流出しているのが分かる。

土砂流出範囲



鉄ピンで木柵が固定されている階段。
斜面にある階段なので、雪解け時期に雪で木柵が引っ張られて鉄ピンが曲り、背面に溜まっていた土壌が流れてしまっていた(写真は6月に簡易補修後)。

谷側に石材が並べてあるが(補修のために設置しているとのこと)サイズが小さいので融雪時期に崩れてしまうことが多く、土壌流出の一因にもなっている。

階段としての段差も高く、斜度もかなりきついため、安全に歩行するための補修も必要。

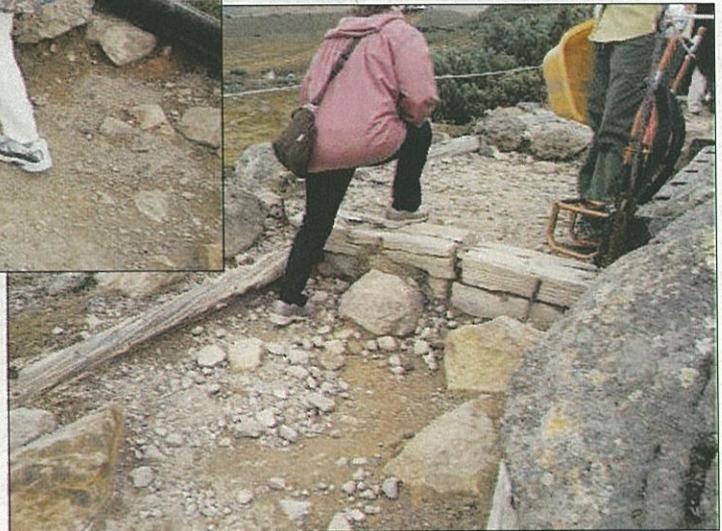
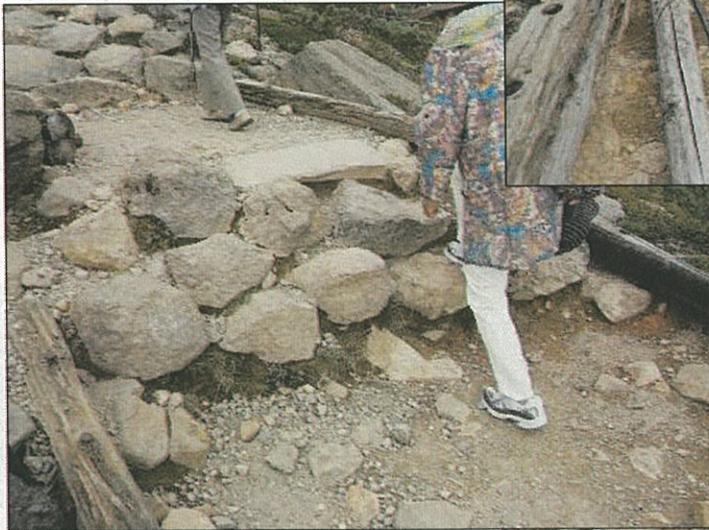
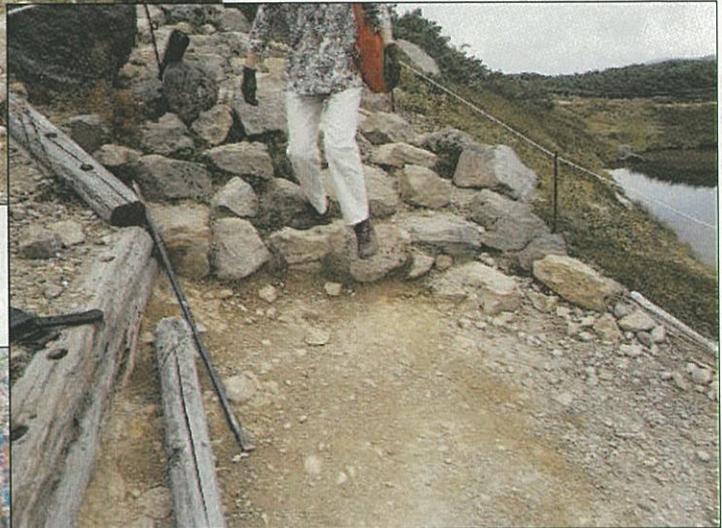
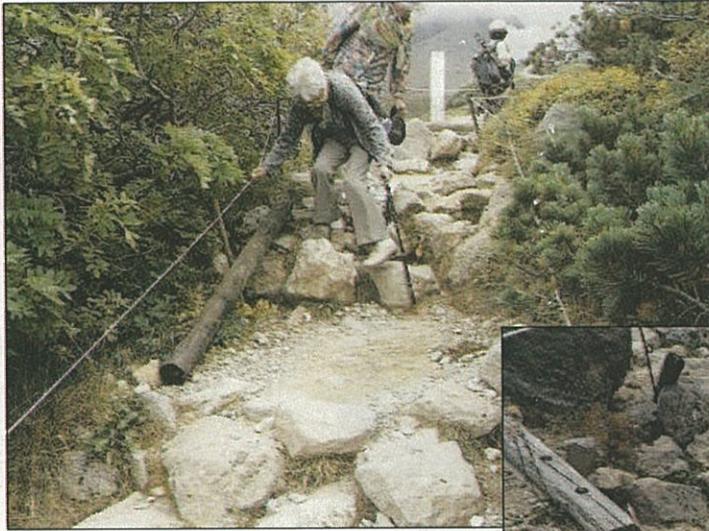


毎年簡易補修されているが、鉄ピンでの木材固定方法は変わらず、谷側の土壌流出防止のための石材はサイズが小さいので融雪に対応した補修にはなっていない。
また、配置してある木材は階段としての機能が不十分な箇所も多く、段差も高い箇所が多く、急傾斜階段としては非常に不安を感じる。

木柵階段の崩れを防止し、歩きやすい階段にするための補修を行なった。

施工前の状況(段差処理について)

石段や木柵階段など、施工後10年ほどが経過し激しい侵食は見られないが段差が高くなっている。
また、石組は歩行しやすい組み方とはなっておらず高齢者などには危険な個所もある。



今回の施工中にも、段差が高く怖いからと言って引き返す高齢者の方が複数いた。

30cmほどの段差高は多くあり40cm近いものもある。

また、補助的に置かれている石材は小さいものが多く、見た目の安心感はない。

歩行者は危険を感じてロープを掴んで歩くことも多いが、植物保護のためのロープなので支えにするのは危険である。

幼稚園児から高齢者までが歩き、体力や装備がない利用者がほとんどである。

現場には維持管理している人もいるが、年に数段の段差処理が行われる程度で歩行や侵食が改善されてはいない。

大雪山の最も代表的なコースとして、多くの人々が訪れる場所として、早急に段差処理の必要性を感じた。

施工前後（夫婦階段）①



基礎部に大石を配置し、それを起点に木材の固定を行なった。
谷側に並べてあった小石材を大石に変換。大石は単体でも融雪や踏圧では動かないサイズを使用(80kg以上)。



部分的に、埋まっていた木柵を利用し段差を配置した。
いままでよりは広い踏み面、低い段差になり歩行のしやすさは向上した。



木柵の固定は鉄ピンに頼らず、谷側に設置した大石を起点に積み上げた石材で固定されるように配置した。
石材が崩れない限り木柵は安定すると思われる。

施工前後（夫婦階段）②



埋まっている木材も活用し段差を設置。
木材の固定は谷側に設置した大石を起点に行なった。

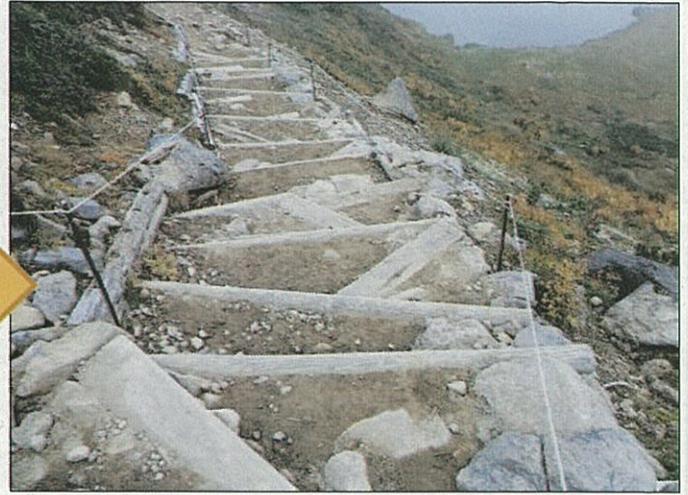


木材の固定方法は基本的に石材で行なった。



石材は人力で運搬できる最大の大きさを使用した
が融雪時期にはぐらつきが出る可能性もある。
今後のメンテナンスも必要。

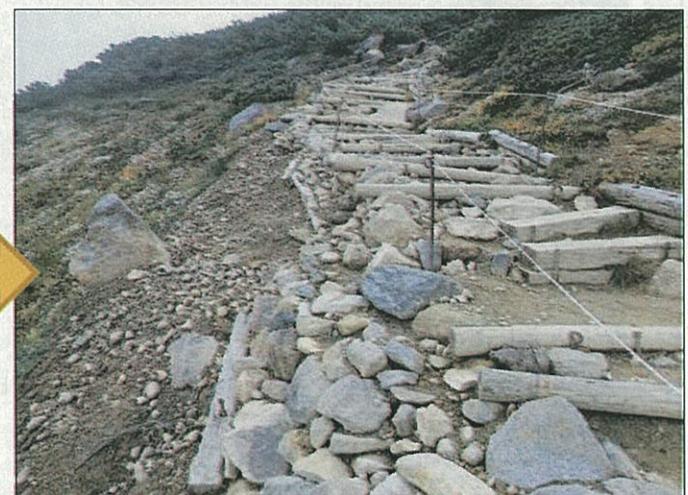
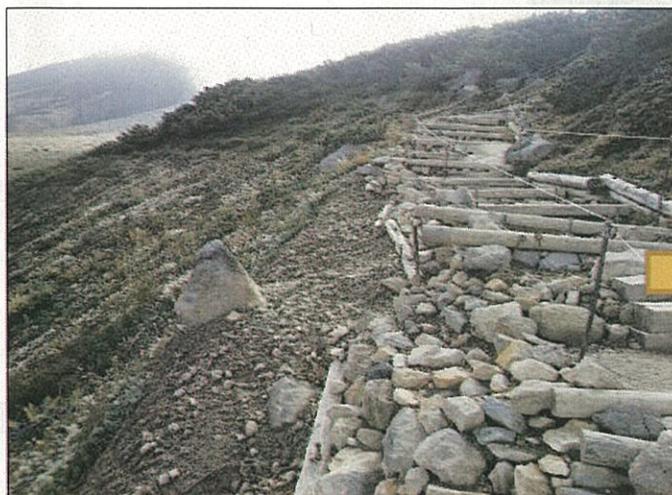
施工前後（夫婦階段）③



段差が増えて歩行面が選べるようになった。



毎年崩れていた石材は最上部を大石に取り換えた。
木柵の固定も鉄ピンから、谷側に連なっている大石で固定された。



見た目の変化は少なく、歩きやすさを向上させ、融雪にも耐える施工を行なった。

施工後の様子（夫婦階段）

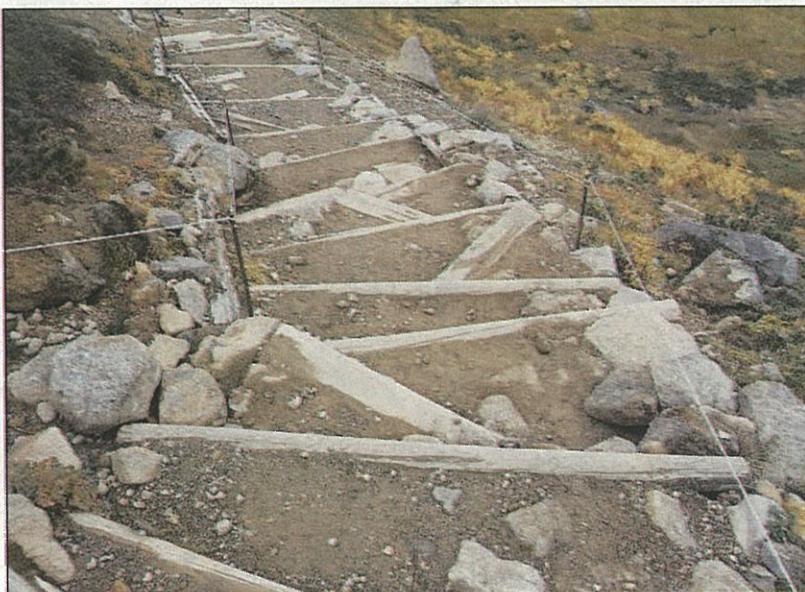


斜度がきついため歩行者は用心して利用しているが、6～7段の段差を追加配置したので、高い段差はなくなり安心感は増したようだ。



施工後10日の様子。

崩れやズレはなく安定してきた。



上からの様子。斜めに配置された木柵階段が追加配置した箇所。足元に気を付ける必要はあるが、不安感を感じることは減少した。

今後は融雪直後に点検をし、大石や木柵のズレを確認し、補修をしていくメンテナンスが必要となる。

施工前後（段差処理）①

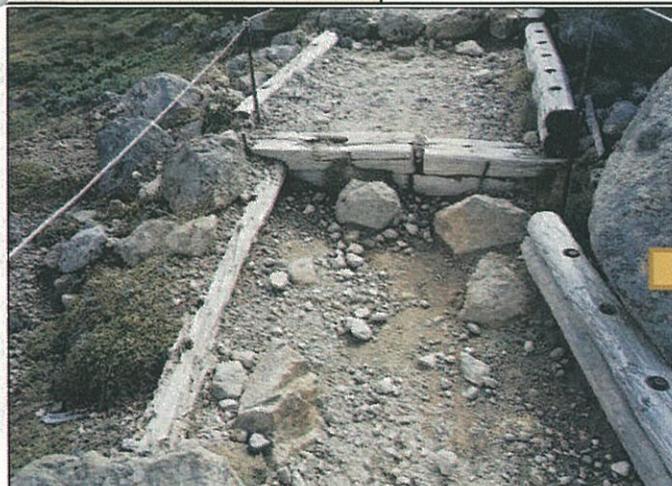
木柵3段施工



木材固定は大石への引掛け土中への埋め込み。杭よりも強度が期待できる。

施工前後（段差処理）②

木柵1段施工





40cmほどの段差に20cmほどの木柵階段を設置。踏み面が広いので不安はなく、違和感もない。

施工前後（段差処理）③

木柵1段施工



木材を交差させて固定している。下方向にテンションがかかると強度が高くなるのを利用した。

施工前後（段差処理）④

木柵1段石材1段施工



上部で歩行を妨げていた石を下方に移動し段差として配置した。

施工前後（段差処理）⑤

水たまり対応策

木柵2段石材1段施工



木材がハードル状になり水が抜けず、降雨時は水が溜まっていたが、不要木材を一段切除しぬかるみ対策とした。

◇ 平成26年度 旭岳姿見園地 夫婦階段等補修ボランティア作業 ◇



非常に歩きにくかった場所の一つ。ハードル状の木材切除、木柵・石段設置により歩行場所が増え不安が無くなった。

施工前後（段差処理）⑥	木柵1段施工
-------------	--------



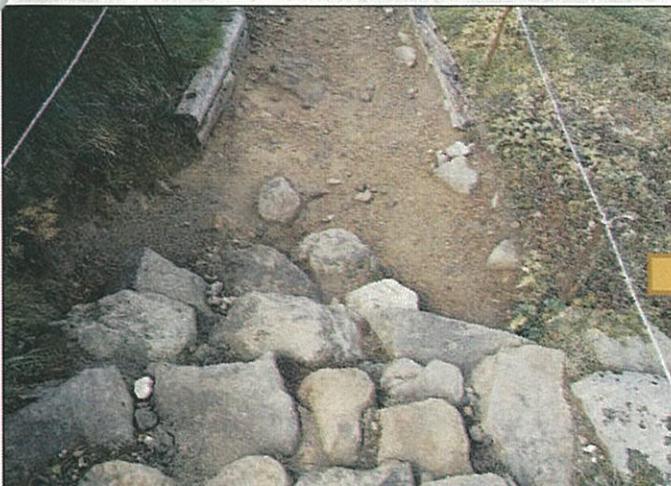
◇ 平成26年度 旭岳姿見園地 夫婦階段等補修ボランティア作業 ◇



最下段が広い面になると不安感が減少する。

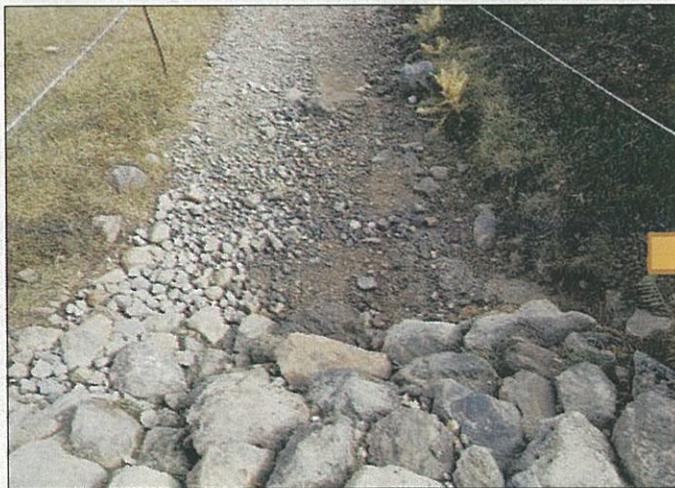
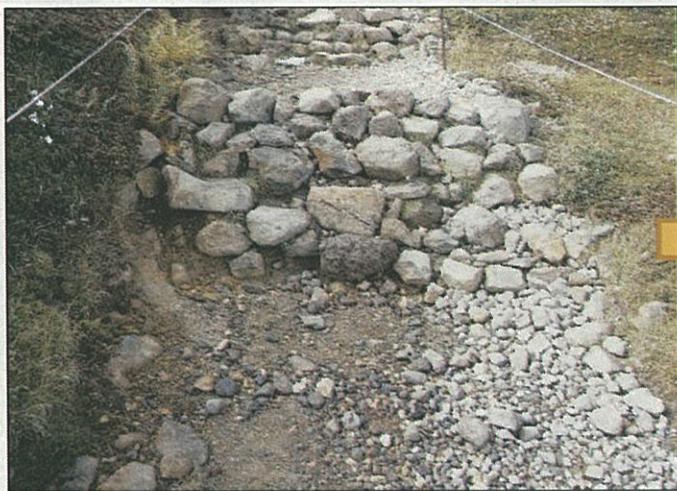
施工前後（段差処理）⑦

木柵一段石段一段施工



施工前後（段差処理）③

木柵2段施工

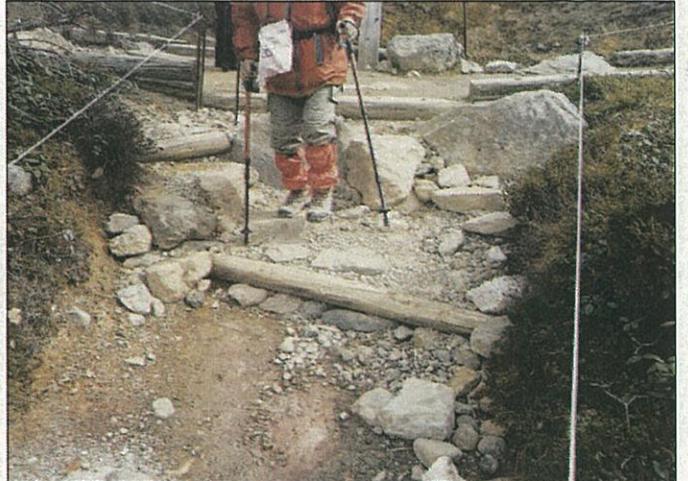


踏み面の狭い石段が連なり、とくに下り時は不安を感じていた。最下段が高く広くなり安心感が増した。

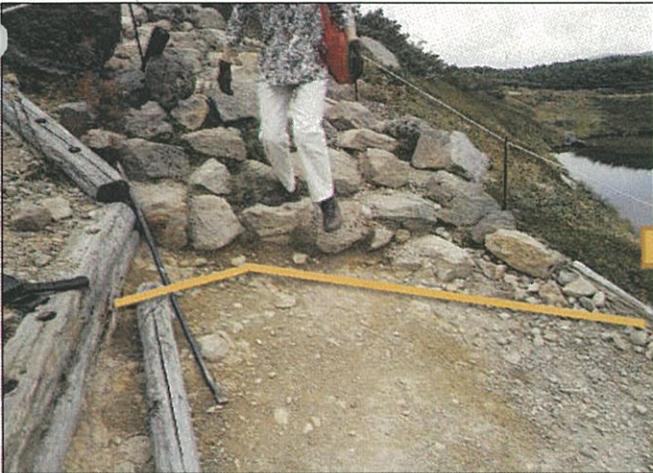
施工後の様子（段差処理）



段差処理⑤の様子



段差処理③の様子



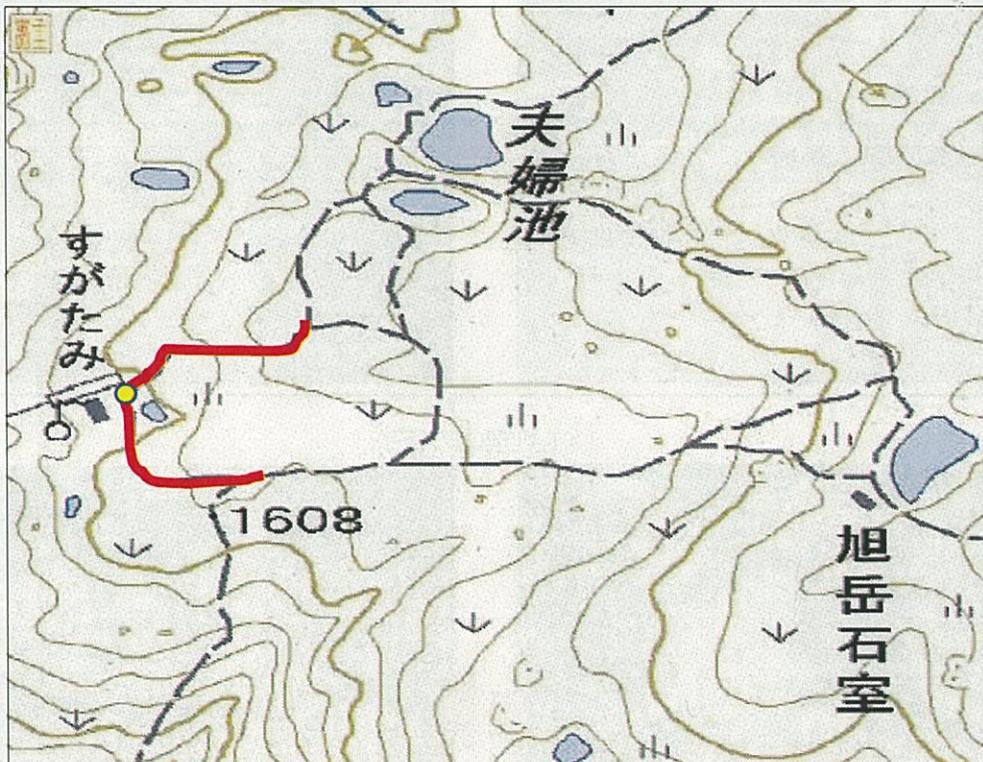
段差処理②の様子



施工後は多くの方が違和感なく利用している。段差高が解消され見た目の不安感も減少した。
このコースは未だ多くの場所に高い段差や歩きにくい箇所があるので、初めて歩く人はきつく感じるようだが、
今までを知る人には大きな変化になっている。
今後は木材の腐食や固定の確認等のモニタリングや石材のぐらつき補修等のメンテナンスが必要になる。

<今後、補修が必要な箇所>

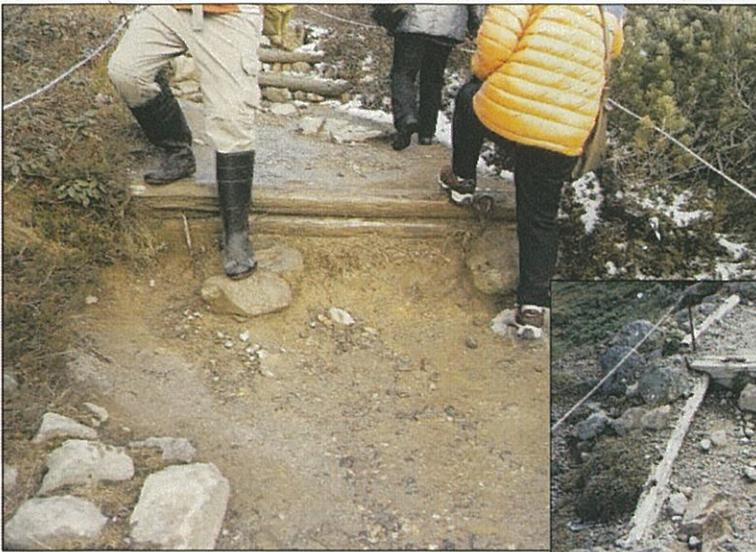
- ・段差処理
- ・既存石組の組み替え
- ・水たまり等の路面処理



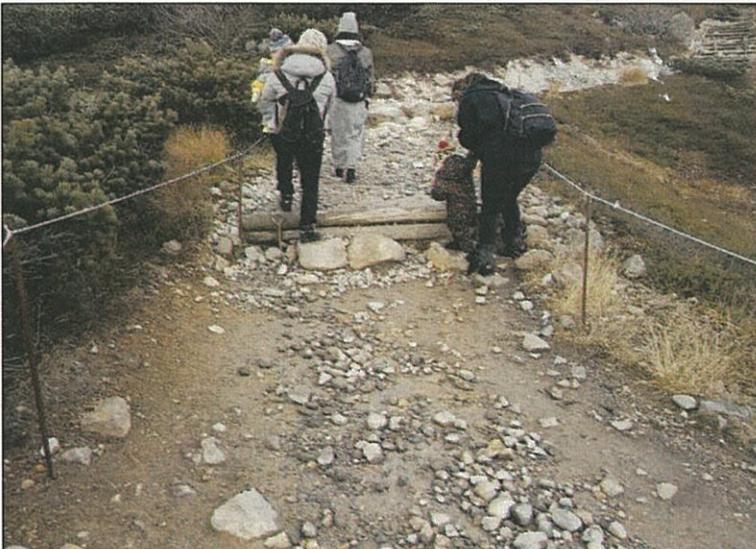
施工必要箇所は多々見られるが、歩きはじめの箇所だけを取り上げた。
歩き始めの印象は、そのコースの印象となるので非常に重要な地点である。
できるだけ早い施工が望まれる。

今後、補修が必要な箇所

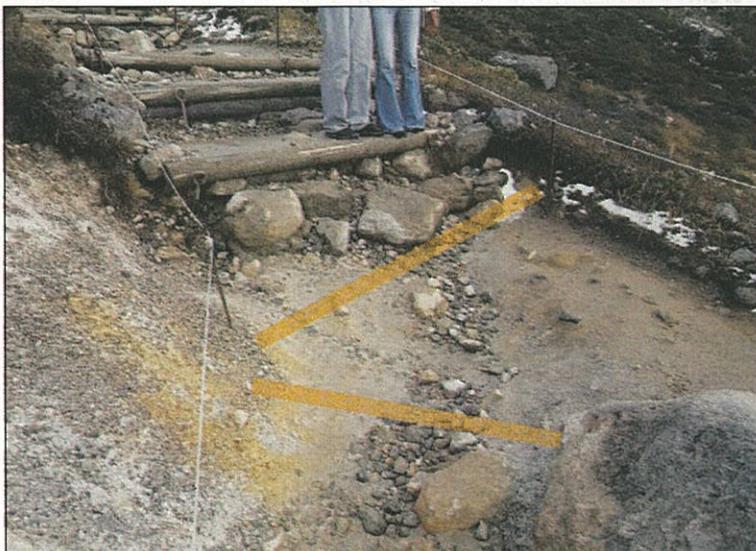
<高い段差>



- ・約40cmほどの段差。
- ・補助的に石材がおかれているが安心して使用できるものではない。
- ・下写真のようなしっかりした施工が必要。



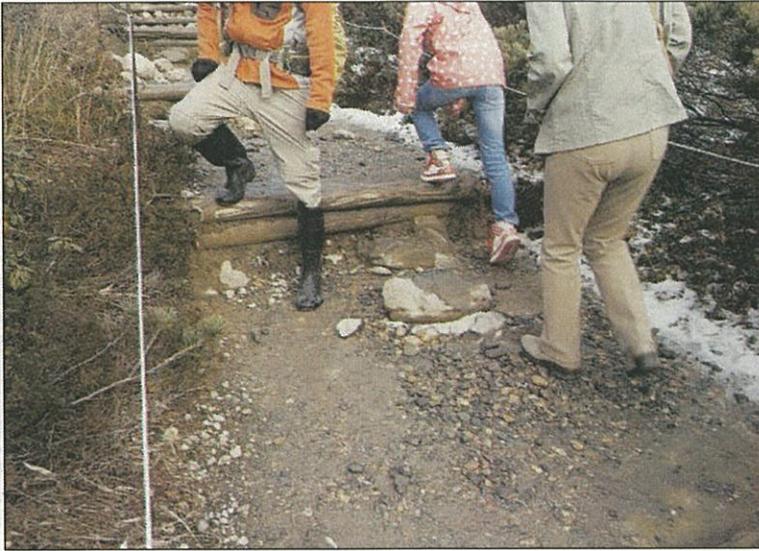
- ・様々な利用者が安心して歩けるように、広く低い踏み面が必要。



- ・下りでは躊躇してしまう利用者。
- ・流水の影響で土壌が掘れて段差は年々高くなっている。
- ・上部で水を逃がす施工も必要。
- ・段差が高いため木柵は2段ほど必要。

今後、補修が必要な箇所

<高い段差>



- ・登山道では段差が25cmを越えると辛さを感じてくる。
- ・遊歩道では25cm以下の段差が望ましい。



- ・現状の石材による補助段差は不安を感じるものが多い。
- ・足が引っかかって取れてしまうものもあり、危険な箇所もある。



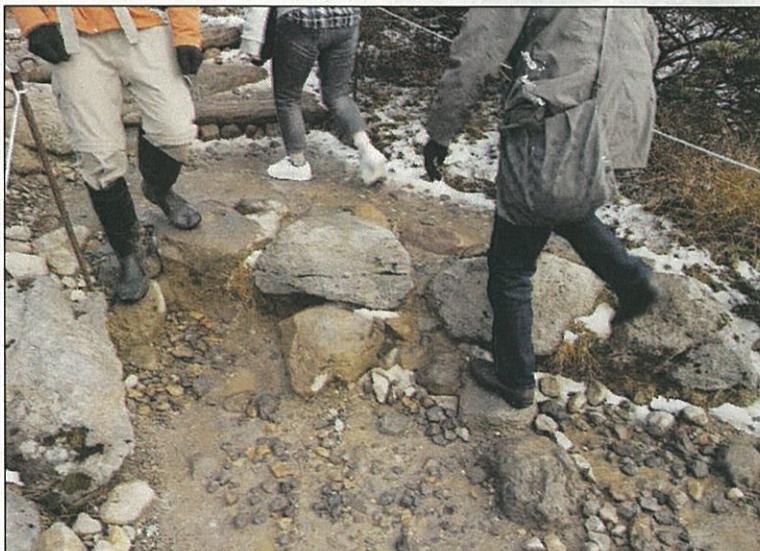
- ・簡易なものではなく丈夫で安定感のある施工が必要。

今後、補修が必要な箇所

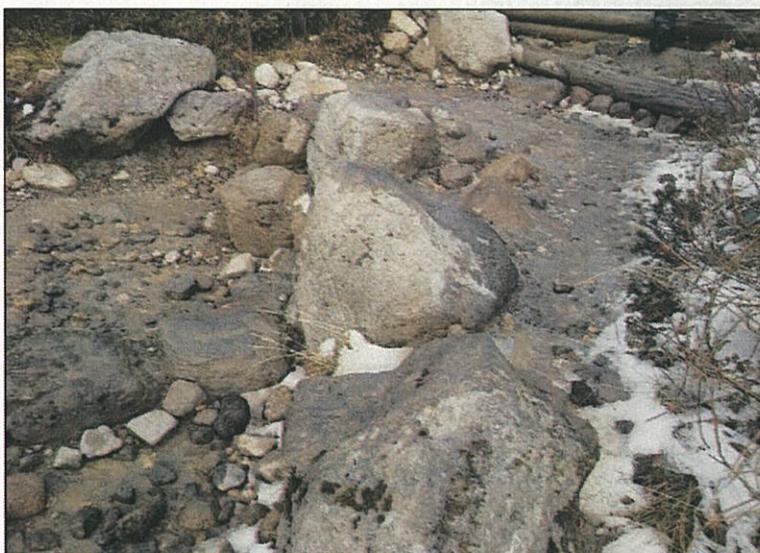
＜既存石組の組み替え＞



- ・既存石組は歩行に支障あるものが多い。
- ・歩行者はそれを乗り越えて歩かねばならず、慣れていない人は植物保護ロープを掴んで歩くため危険でもある。



- ・石材は段差に多く使われている。
- ・高い段差と歩きにくい石組は非常に不便である。



今後、補修が必要な箇所

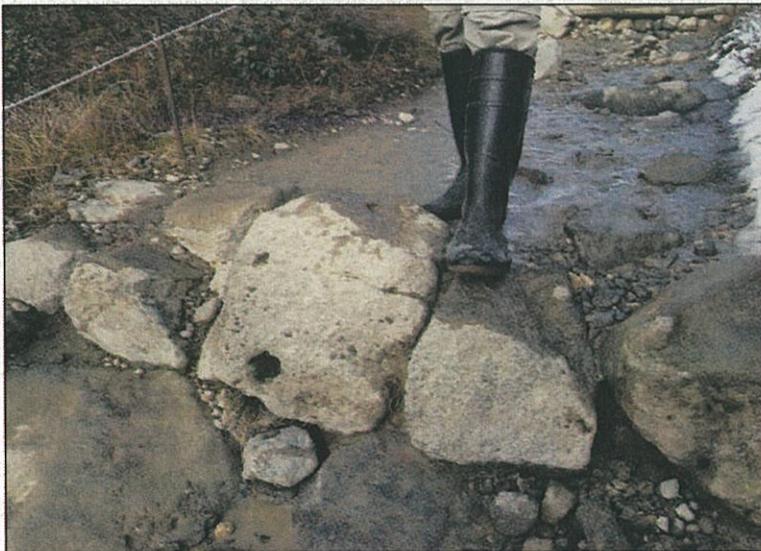
<既存石組の組み替え>



・これら石材の組み換えには高い技術が必要になる。また、石材は大きく100kgを越えるものも多い。それらの取り扱いには危険もあり、正確な技術を持った施工が望まれる。



・組み換えの利点は、石材が大きく平滑な面もあるので、正しく施工できると恒久的に使える段差になること。



今後、補修が必要な箇所

＜水たまり・流水対策＞



- ・コース上は融雪時期や降雨時は水たまりになる箇所も多い。
- ・現状は簡易なステップが置かれているだけなので、しっかりした足元とは言えない。
- ・排水処理や小木道の設置が必要。



- ・降雨時は青矢印のように水が集中し、下写真の箇所に向けて流れる。流水の影響で土壌が掘れ段差が高くなったり、黄丸印には流されてきた土壌が堆積し植物が埋まっていた(8月28日)。



- ・茶線部に導流工を設置し、排水処理をするなど流水対策が必要な箇所も多い。
- ・導流工の設置箇所選定や違和感のない設置には技術や知識が必要になる。

備考

・今回、単日で20段ほどの段差処理を行なうことができたが、このコースにはまだまだたくさんの段差処理が必要な箇所がある。今も流水や踏圧による浸食作用で少しずつ段差が高くなってきている。また、融雪時期や降雨時には水が溜まり歩行に支障ができる箇所も多い。現状では簡易的なステップが置かれているだけで、排水処理や路面処理はほとんど行われていない。

・観光客や高齢の利用者などは高い段差や既存の石組を乗り越えて歩くことにとっても苦労している。姿見駅から歩いてすぐに高い段差や歩きにくい石組が始まるため、ルート全体が大変だと感じてしまい、あきらめて先へ進まない利用者も多くみられる。

・このコースを補修するためには侵食の原因である流水や利用者の動きをよく把握し、それぞれ流水対策(導流工など)や段差処理が必要になる。また、既存の大石の組み替えや導流工の配置には熟練した技術も必要になる。現状の現地管理補修では難しい箇所も多く見受けられる。

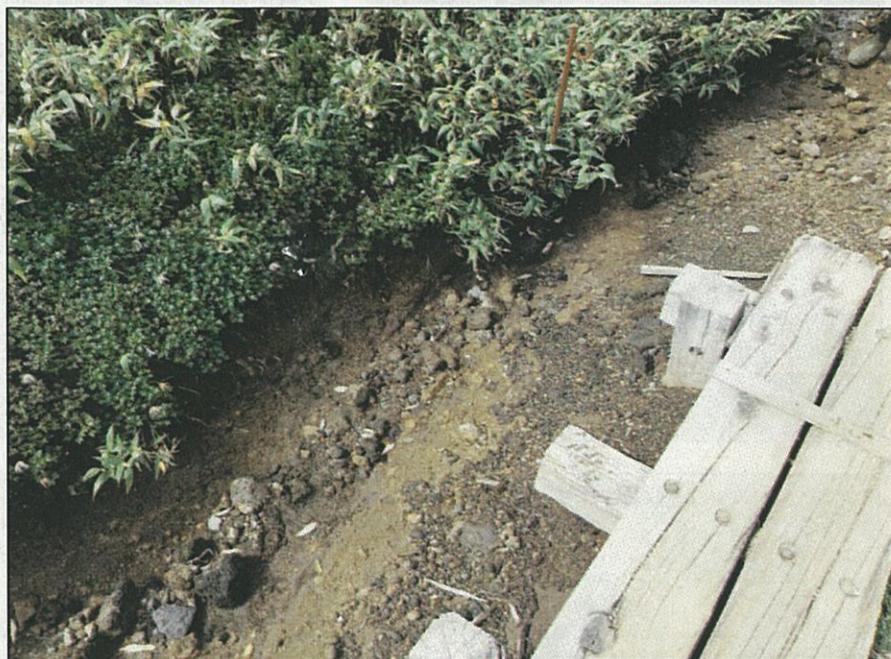
・このコースは大雪山で最も利用者が多く、利用者も登山者から観光客までさまざまである。大雪山の顔である姿見園地は「ロープウェイを使い気軽に散策できるコース、観光客も安心して歩けるコース」となるよう、今後も補修を続ける必要性がある。

北海道山岳整備・岡崎哲三

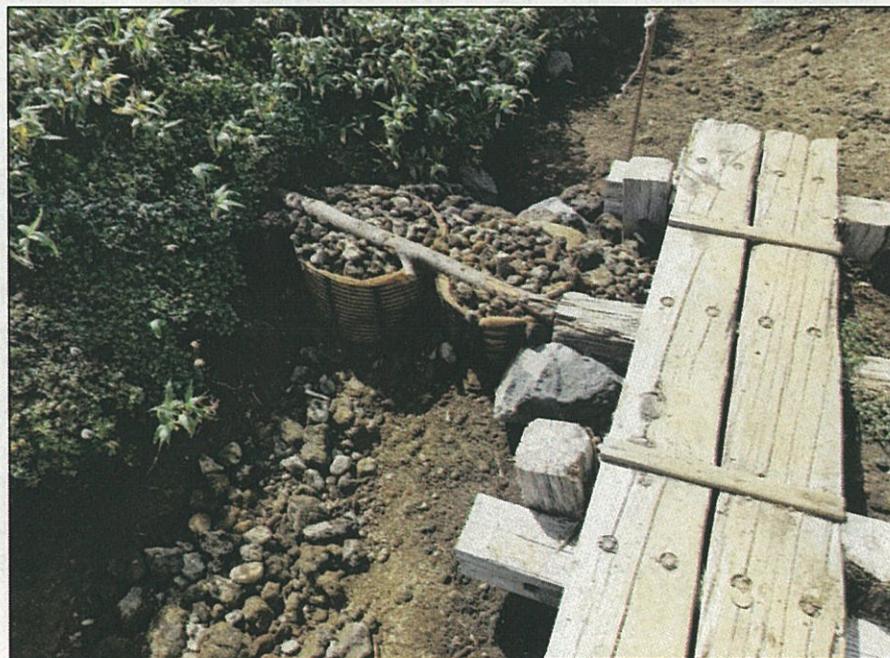
＜裾合平 テンサー施工＞

施工日	平成26年8月27日
施工者	環境省・パークボランティア・北海道山岳整備
施工目的	裾合平分岐から中岳温泉に向かう木道部は、流水による侵食が激しく、ガリー侵食により土壌流出が起こり木道が傾くほどである。 土壌流出を止めるためガリー部にテンサーを使用し、土壌を堆積させる。
使用材料	テンサー・ジョイナー・ヤシマット
施工箇所	裾合平分岐から中岳温泉の間に3か所施工（テンサーセル6個使用）

施工前



施工後



施工前、ガリー浸食により土壌侵食された箇所。
木道も侵食部に向かって傾いている。



施工後、木道の基部の高さまで土壌が堆積するように施工。
落下水による洗掘防止のため木柵工も設置し背面は石材で埋めた。
腐食して折れていた木道も一部補修した。

使用材料



テンサー



ジョイナー



ヤシマット

施工手順



①位置決め。床の水平だし。



②テンサーをジョイナーで連結。
高さの確認。



③ヤシマットの設置。



④礫や土砂の詰込み。



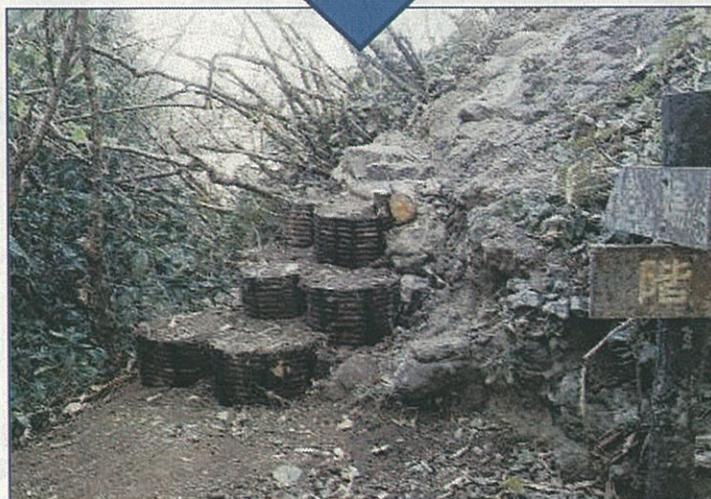
⑤両脇を石材で固定。
落水水の位置に木柵工を設置し完成。



<一ヶ月後の様子>

土壌が溜りはじめています。
今のところ流水はセンサーを浸透して流れているようだ。
今後の経過観察が必要。

<センサー使用事例>



センサーは土留め効果も高いが段差処理としても使用できる。
施工は比較的簡単で高い技術は必要ない。サイズも高さや円の大きさを変更できるので自由度がある。
ヤシマットを含めても非常に軽量で人力による荷上げが容易である。
高山帯など樹木や石材が少なく、礫しかないような箇所でも高い効果を発揮する可能性がある。

今季調査概要報告

【調査時期】以下の表に示す通り。おもに北海平が中心。

【調査方法】①UAV(無人自動自律型飛行機)を飛ばす前の事前準備。

②トータルステーションを用いた地上基準点の取得(画像解析で必要な位置情報)。

③UAVの飛行および撮影。

【成果物】以下の図に示す通り。侵食荒廃の現状を従来の手法に比べ、より定量的かつ正確に把握することが可能に。この図での精度は概ね1cm~7cm。

【安全対策】登山者の往来には最大限注意し、接近時にはフライトを一旦中断した。アクシデントもなく無事に調査を行うことが出来た。

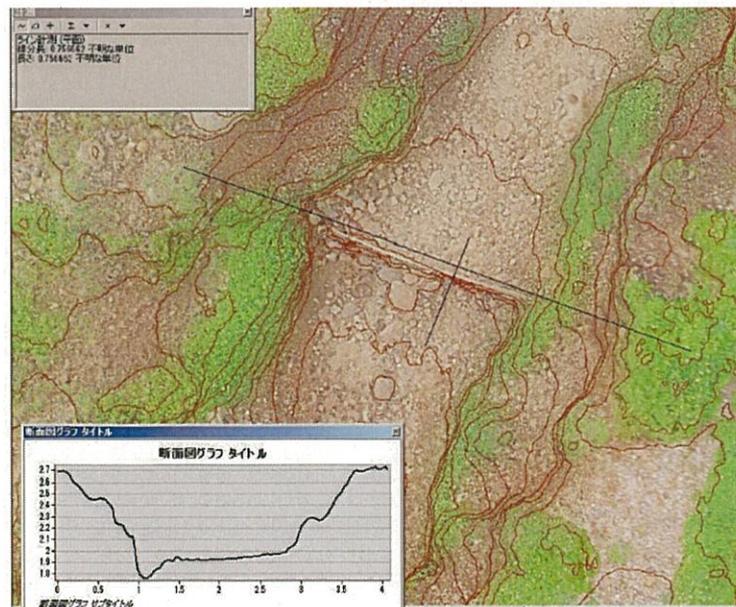
【課題】ラジコンなので当日の天候に左右される。

【今後】地理情報システム等を用いた解析を予定。その他、「流路」の特定も出来ればと考えております(排水を行う上で重要な情報になりうる)。

【その他】その他、本学修士学生とともに裾合平・旭岳付近でUAVではなく、普通のデジタルカメラの手持ち撮影による調査計測も行った。現在、その精度等について研究しており、今後、関係者および一般登山者の方にも安易に荒廃の記録が可能になると考えております(機会があれば皆様に紹介いたします)。

【謝辞】今季調査にあたり皆様方には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。今後ともご協力、ご助言賜りますようお願い申し上げます。

山域	地点名称	日時	調査時間	総撮影枚数	UAV撮影枚数	地上撮影枚数
表大雪山	赤石川1	8月9日	13時~18時	1137	704	433
表大雪山	雲ノ平1	8月10日	10時~13時	606	0	606
表大雪山	北海平1	8月26日	12時~17時	2086	1208	878
表大雪山	北海平2	8月27日	8時~13時	1086	423	663
表大雪山	北海平3	8月31日	7時~10時	1582	718	864
表大雪山	北海平4	8月31日	10時~13時	1492	716	776
表大雪山	北海平5	9月1日	6時~9時	1027	711	316
表大雪山	北海平6	9月3日	6時~13時	3376	1396	1980





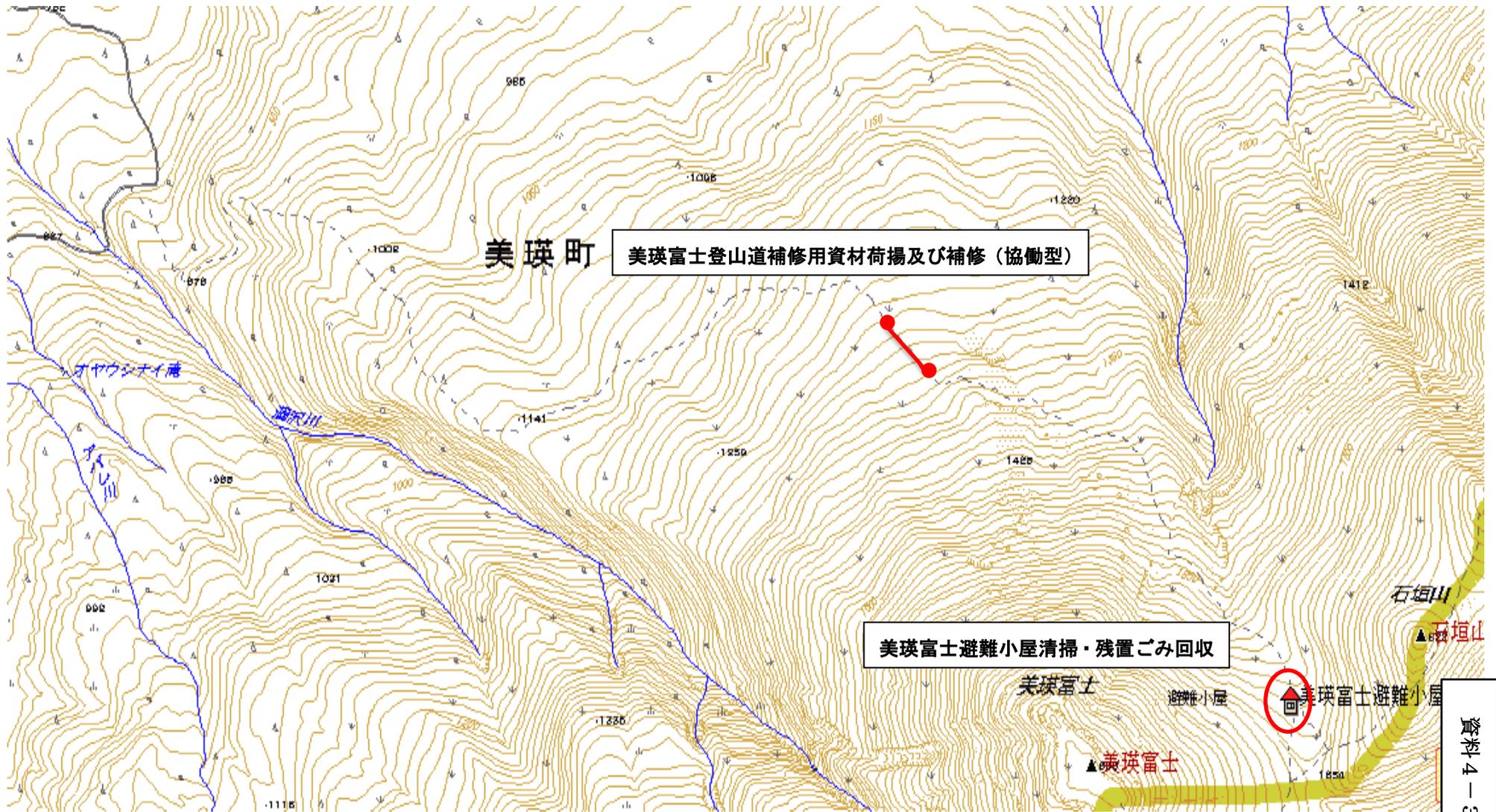
天人峡化雲岳登山道倒木除去

同 笹刈り整備

美瑛山岳会 提供資料

資料4-1





美瑛町

美瑛富士登山道補修用資材荷揚及び補修（協働型）

美瑛富士避難小屋清掃・残置ごみ回収

美瑛富士避難小屋

資料 4-3



平成26年度PV活動報告

日程	場所	行事	内容等
4月15日(火)	東川RH	○4月役員会	18時～
5/10(土)～11(日)	十勝岳温泉	○5月役員会 ○連絡会総会(十勝岳温泉凌雲閣)	1日目:総会 2日目:春山研修
5月16日(金)	上川町	○運営協議会総会	
5月20日(火)	然別湖	●然別自然休養林登山道整備	登山道ササ刈り
5月21日(水)	士幌町	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6月3日(火)	東川RH	○6月役員会	18時～
6月10日(火)	然別湖	●然別自然休養登山道整備	登山道ササ刈り
6月11日(水)	層雲峡	●外来種防除活動(ルピナス)	防除活動
6月16日(月)	糠平・三股	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6月18日(水)	旭岳山頂～ 間宮岳	●登山道整備	ロープ補強、清掃
6月	表大雪	●高山蝶パトロール週間(週2回程度) ※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリングも含む	密猟防止パトロール
6月	表大雪	●高山蝶重点パトロール	現地重点パトロール
7月1日(火)	東川RH	○7月役員会	18時～
7/4(金)～6(日)	ヒサゴ沼	●登山道整備	ロープ補強、清掃
7月12日(土)	糠平源泉郷	●自然公園クリーンデー	清掃
7月15～18日	然別湖	●ウチダザリガニ防除	ザリガニ防除
7月23日(水)	愛山溪	●登山道整備 ※滝コースから永山岳の間	登山道ササ刈り
7月28日(月)	トムラウシ山	●登山道整備 ※カムイ天井付近	資材運び
8月2日(土)	愛山溪	●登山道整備 ※沼の平半月湖周辺	ロープ柵張り
8月3日(日)	大雪山全域	層雲峡温泉・旭岳温泉・白金温泉・天人峡温泉 ●自然公園クリーンデー	清掃活動
8月5日(火)	東川RH	○8月役員会	18時～
8/12(火)～21(木)	旭岳周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動週間	防除活動
8月17日(日)	美瑛富士	●登山道整備	美瑛山岳会協力
8月19日(火)	層雲峡	●外来種防除活動(ルピナス等)	防除活動
8/21(木)、28(木)	銀泉台入口～ コマクサ平	●外来種防除活動(オオハンゴンソウ、フランスギク、セイヨウオオマルハナバチ等)	防除活動
8月26日(火)	沼ノ平	●湿原植生再生	種子採取など
8月27日(水)	裾合平	●登山道整備	センサー工設置
9月2日(火)	東川RH	○9月役員会	18時～
9月6(土)～7日(日)	ヒサゴ沼 忠別小屋	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
9月11日(木)	沼ノ平	●湿原植生再生	播種
9/13(土)～28(日) 延べ17日間	高原温泉沼 巡りコース、 赤岳銀泉台	●マイカー規制対応 ※土日祝日+平日2日程/週	自然解説活動、 受付補助
9月27日(土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
9月28日(日)	旭岳山頂 旭岳裾合	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
10月7日(火)	東川RH	○10月役員会	18時～
10月8日(水)	層雲峡	樹木種子採取	種子採取
10/20(月)～24(金)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動
1月17日(土)	旭川市内	○1月役員会	
2/7(土)～8(日)	糠平温泉	●冬期研修会	
2月下旬又は 3月上旬(2回程度)	愛山溪他	●スノーモビル等乗入れ規制合同パトロール、 重点パトロール	
年間		●事務所行事への協力(観察会・フォーラムなど) ●層雲峡VCにおける来館者への自然解説等	

平成26年 大雪山 活動報告
合同会社 北海道山岳整備

- ・ 裾合平
- ・ 愛山溪
- ・ ニペソツ
- ・ トムラウシ
- ・ 天人峡ボランティア整備
- ・ 山楽舎ベア-企画ツアー
- ・ 登山道整備講習会

裾合平①	
作業ルート	姿見園地～当麻乗越・中岳分岐～間宮岳
作業内容	・巡視、補修作業の中で段差処理、路面処理、導流工、木柵工補修、ロープの設置回収



石組み補修



・この区間の巡視・整備を担当して2年目。昨年度は整備すべき箇所が多く、一年ですべての施工ができないと判断し、流水対策の導流工やぬかるみ対策の木道など緊急性があり大きな崩れにつながる箇所を施工した。
 ・今年度は導流工で少なくなった水量や侵食程度、土壌の溜り方などを判断し、段差処理や路面処理の施工を行なった。

裾合平②

ガリー侵食箇所 路面処理



ピウケナイ沢 飛び石工



木柵工補修



裾合平③

石組み補修



中岳付近 石組み補修



愛山溪①

作業ルート	三十三曲分岐～当麻乗越
作業内容	・巡視、刈払い、木道改修等工事、段差処理、導流工、木柵工補修



- 巡視
 - ・三十三曲分岐～当麻乗越
- 刈払い
 - ・沼の平分岐～六の沼
- 木道改修等
 - ・沼の平分岐、半月湖付近
- 段差処理
導流工
 - ・三十三曲分岐～沼の平分岐
- 木柵工補修
 - ・三十三曲分岐～沼の平分岐

刈払い 機械刈りにより数年間は保つ施工になった。ただし毎年の手刈りは少々必要。



愛山溪②

刈払い後、約1年でのササの伸び。長いものでは約1m伸長している。3年毎には機械刈りが望ましい。



- 昨年度は六の沼～当麻乗越での機械刈りを行なった。
- 今年度の施工により三十三曲り分岐～当麻乗越間の刈払い施工が完了した。
- ただし、上記写真のようにササは伸びが激しく、数年で登山道に被ってくる。今後のメンテナンスも必要。
- また、施工箇所によっては法面に近いササを刈り払ったことによって登山者が法面上（路肩）を歩くようになり、植生または土壌が踏圧されてしまうことも多い。対処も必要になる。

木道改修、追加

十数基の交換、追加施工を行なった。



段差処理・導流工

9か所（約20段）の段差処理、3か所の導流工を施工。



愛山溪③

段差処理・導流工



- 段差処理は数年前に行われた業者工事の補修作業が多かった。
- 木柵階段が設置されているが段差高が40~50cmの箇所が多く、歩行に不自由を感じていた。搬入木材や周辺倒木を使用し、補助的な木柵階段を追加施工した。
- 業者施工において、導流工はほとんど設置されておらず流水侵食が続いている状態だったので、昨年に引き続き数か所に導流工を設置した。

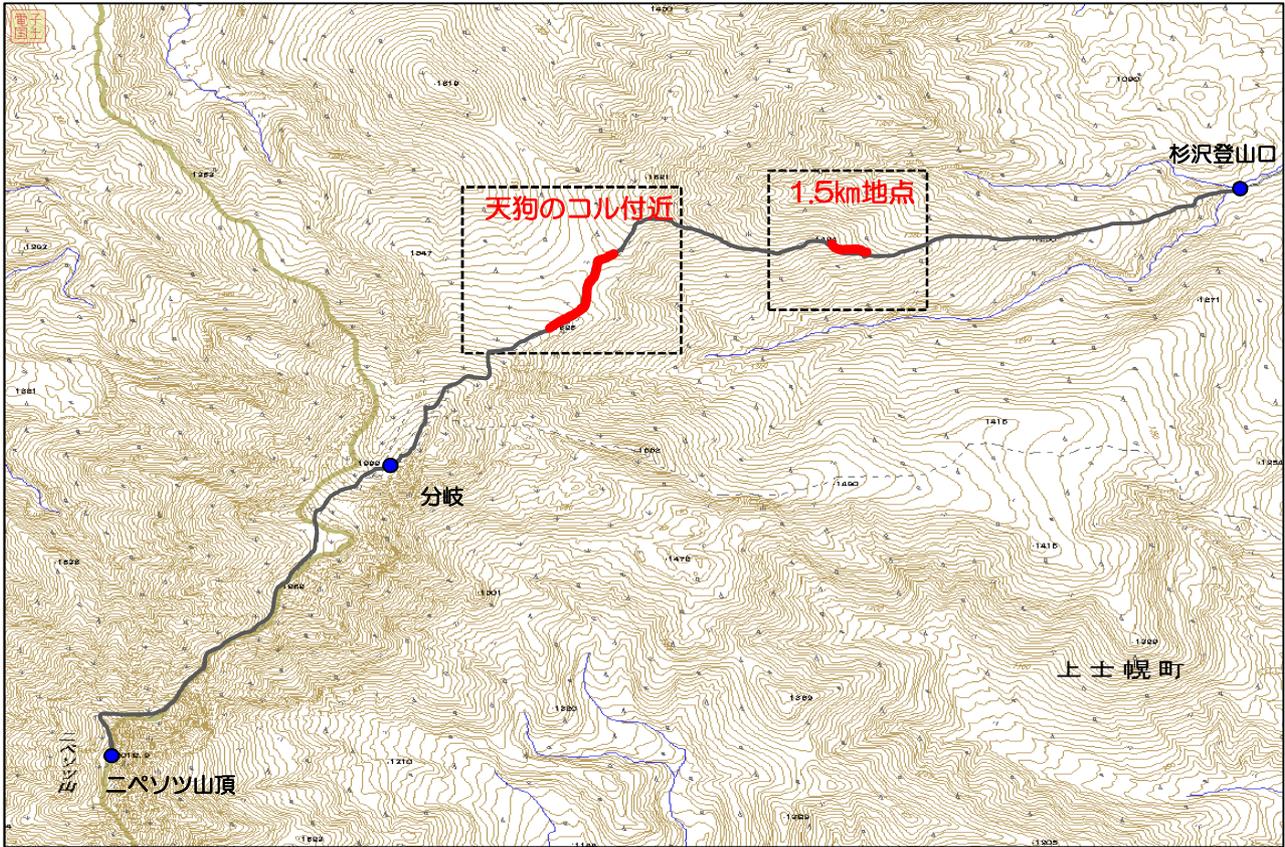
木柵補修



- 既存の木柵工において、木柵端部の土壌が流水や踏圧によって侵食され土壌流出が始まっている箇所が見られた。
- 木柵端部から法面に向かって木を設置し、流水が正しい位置に向かうように施工した。

ニペソツ①

作業ルート	登山口より1.5km地点	天狗のCOL付近
作業内容	・段差処理、路面処理、導流工など約20か所の施工	



1.5km地点



- ・登山口より1.5km地点は段差処理を3か所施工。
 - ・周辺の倒木、石材を使用。
- ・周辺にはまだまだ施工すべき根系裸出箇所が多くある。

ニペソツ②

天狗のコル付近



- 天狗のコル付近は約1kmの区間で流水による侵食、登山者による法面の踏圧侵食が激しい。
 - 導流工、段差処理、路面処理の施工をした。
- 周囲の枯損木、倒木、または樹林帯から荷上げにより木材を確保、使用した。

トムラウシ①

作業ルート	トムラウシ…カムイ天上～コマドリ沢までの泥濘区間（約1.5km）	
作業内容	新得山岳会の補助作業員として	<ul style="list-style-type: none"> ・木材荷上げ ・段差処理8か所（20段程度）



荷上げ



トムラウシ②

段差処理



- 施工は新得山岳会の補助として行なった。
- 荷上げは7月28日のボランティア作業にも参加。
- 段差処理は荷上げ木材、周辺枯損木、周辺石材を使用し、ぬかるみ区間の一部、段差の激しい箇所のみ施工。

天人峡①		
作業ルート	天人峡三十三曲り	
作業内容	ボランティア整備に参加 8月22日 約25名で施工	・階段工補修、倒木処理、路面処理



木階段補修



・山岳関係者により、昨年に引き続き、急傾斜地の倒木処理・路面処理・階段補修を行なった。
 ・複数の班に分かれ、各補修作業を行なった。
 ・昨年度は自分は階段補修を担当したが、積雪のグライド現象により施工した木柵階段が大きく崩れてしまった。今年度はその補修を担当させてもらった。

天人峡②

木階段補修



- 積雪グライドを耐えるにはかなりの強度が必要になるが、この施工が耐えるかはわからない。
- 昨年と違い、縦の基礎木を設置し、横断木はカスガイ、杭、法面への貫入で固定した。
- 来年度もメンテナンスが必要かもしれない。モニタリングは重要。



山岳関係者 約25名が参加したボランティア整備

山楽舎ベアー①

作業ルート	姿見園地から0.5km地点	
作業内容	9月7日 山楽舎ベアー佐久間氏の「たまには山に恩返し」ツアー、施工指導	<ul style="list-style-type: none"> ・石組ステップ&プール工の補修 ・段差処理



石組ステップ&プール工の補修



山楽舎ベアー②

石組ステップ&プール工の補修



- 一日で20段ほどの石組み補修を行なった。
- 石組ステップ&プール工の「プール」は侵食防止として機能していない状態だったので、木柵を追加しプールを埋めるように石材を充填しステップとなるように施工した。
- これにより段差高は解消し、落下水による洗掘は防止される。
- 流水は導流工の追加（別業務）により減少しているので侵食の可能性は低くなった。



- 段差処理（施工後）
- 施工前は登山者は路肩部（線位置）を歩き、植生が踏圧されていた。
- 木柵階段を追加することにより見た目にも歩きやすい段差を作り、路肩部の歩行を抑制することができた。



- 山楽舎ベアー佐久間さんの「たまには山に恩返し」というツアー。登山者自ら登山道を保全する企画。
- 30代?~70代まで約10名での作業。
- 4年目になるこの企画は（実際に整備して3年目）参加者の反応がとても良いように感じます（リピーター率100%。）。天候、路面状態、気温、段取り、指導など様々な条件はありますが、一般登山者に保全を考えてもらうには良い機会だと思います。

登山道整備講習会

作業ルート	黒岳6合目～7合目		
作業内容	6月25日	約25名が参加	・段差処理、導流工



作業ルート	姿見園地から 0.3km地点		
作業内容	10月6日	約20名が参加	・段差処理、導流工



作業ルート	トムラウシ温泉から 約2km地点		
作業内容	10月15日	約20名が参加	・段差処理、導流工



NPO 法人ねおす「大雪山自然学校」 活動報告

① 東川町大雪山国立公園保護協会「自然保護対策業務」

受託団体：NPO 法人ねおす「大雪山自然学校」

期間：平成26年5月1日～平成26年11月30日

範囲：大雪山国立公園内東川町の行政区域

活動内容：

- ① 登山道や案内看板等施設の維持管理と軽微な補修 【補足資料①】
- ② 国立公園内の清掃活動
- ③ 高山植物の盗掘及び山火事防止
- ④ 利用者の指導・利用マナー普及
- ⑤ 利用者への情報提供・解説・自然公園関係機関との連携 【補足資料②】
- ⑥ 監視員の育成
- ⑦ 旭岳協力金の呼びかけ・長靴の貸出 【補足資料③】
- ⑧ その他自然環境保全
 - 1 旭岳ロープウェイ駅舎におけるカウンター業務 【補足資料④】
 - 2 インターンシップの受け入 【補足資料⑤】
 - 3 自然環境のモニタリング

■補足資料① 登山道の軽微な補修



路肩の補修(補修前)



路肩の補修(補修後)



■補足資料② 利用者への情報発信

- ・ネイチャーレターの発行

期間：6 / 4 ~ 10 / 29 (毎週水曜日発行・全22回)

言語：日本語、英語、中国語、台湾語、韓国語、タイ語

※メールで海外の旅行代理店などへ送信

- ・インターネットによる情報発信

5 / 23 ~ 10 / 31 (毎日更新・全164回)



台湾語版

■補足資料③

- ・姿見駅の協力金箱の総額は1,615,205円であった。
- ・長ぐつの貸出件数は4,023件、総額は約809,600円であった。
- ※ガイドによる声掛け、レクチャーでの声掛けの効果が高い。

■補足資料④

「案内カウンター」では、利用者の満足度を向上させるために利用者のニーズ合わせた個別対応を行った。(登山情報対応、負傷者対応、ロープウェイ・バス運行情報、周辺観光案内、長靴の貸出、混雑時の人員整理及び誘導)

良く聞かれる質問は、花の名前、旭岳山頂までの時間と道状況、ヒグマの出没状況、山の名前、姿見散策路の道状況、裾合平までの時間と道状況、紅葉の時期、花の見頃、旭岳ロープウェイは冬にも運行しているのか、スタンプはあるか、旭岳自然保護監視員の業務はボランティアか。

■補足資料⑤

インターンシップは全8回、156人日を受入れた(1回の受入は3~4日間。7人程度)

②東川町青少年野営場 運営業務

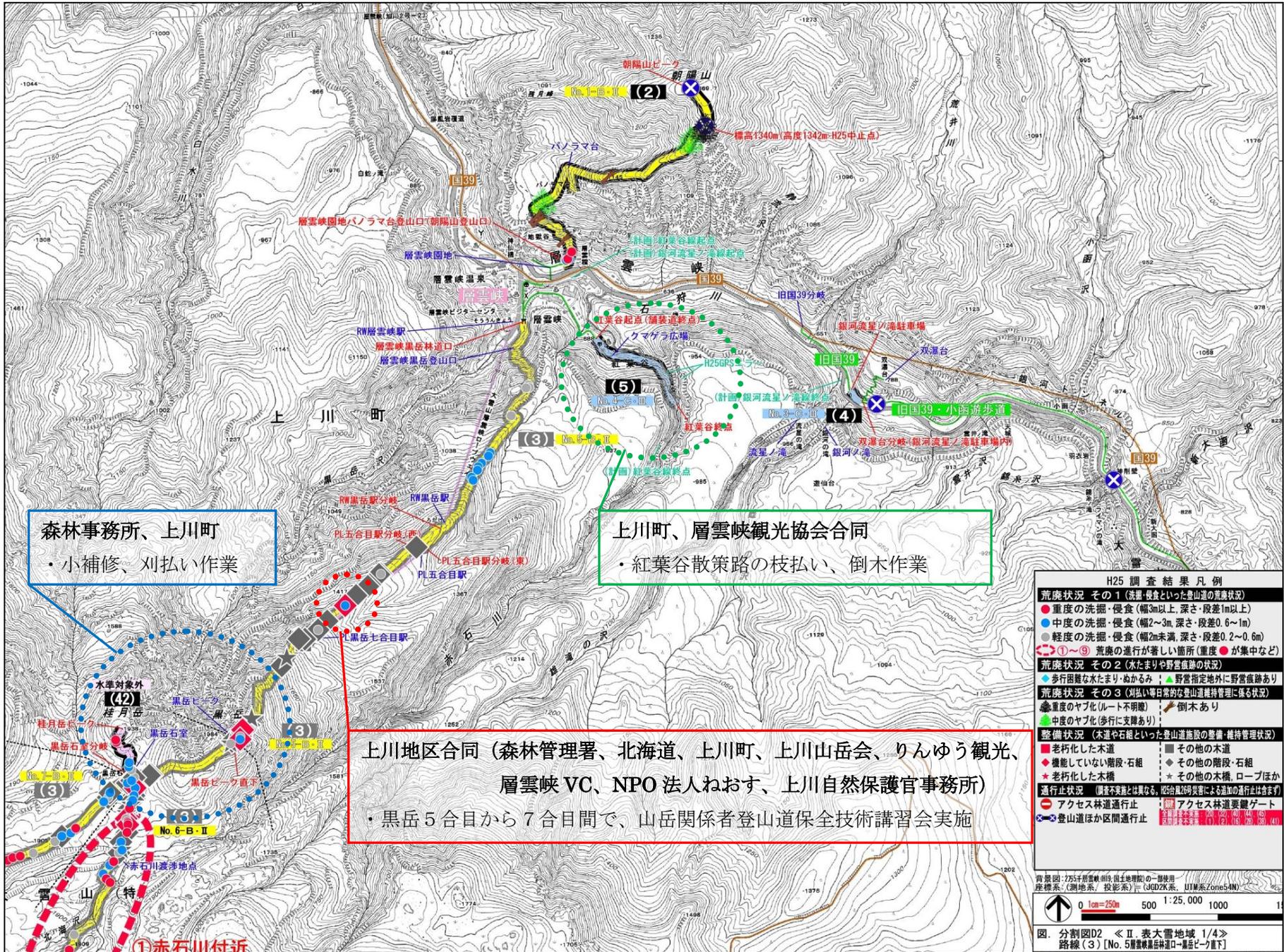
営業期間：6月16日~9月30日

利用者数：1459人(うち道内722人、道外594人、海外143人)

③ガイドウォーク、エコツアー、教育旅行、子供向け環境教育プログラムの実施

主催：海外からのオーダーメイド、国内の会員向けツアー、子供会員向けプログラム実施
受託：旅行代理店や学校からの依頼による姿見ガイドウォーク、旭岳登山、宿泊での環境教育プログラム、福島県から夏の子供プログラム受入(約30人3週間)を行った。

平成 26 年度 黒岳地区周辺 作業箇所



森林事務所、上川町
・小補修、刈払い作業

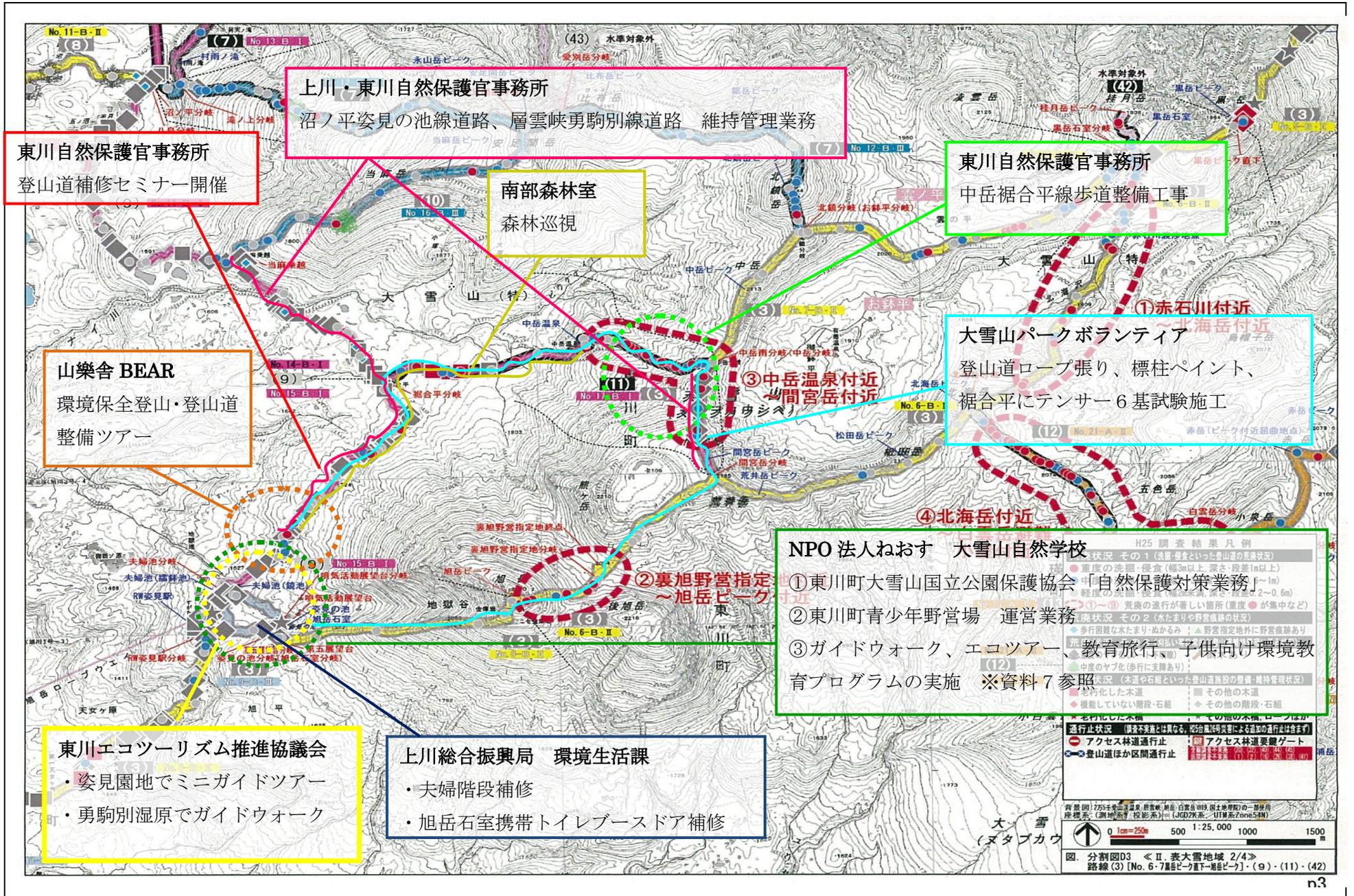
上川町、層雲峡観光協会合同
・紅葉谷散策路の枝払い、倒木作業

上川地区合同（森林管理署、北海道、上川町、上川山岳会、りんゆう観光、層雲峡VC、NPO 法人ねおす、上川自然保護官事務所）
・黒岳 5 合目から 7 合目間で、山岳関係者登山道保全技術講習会実施

H25 調査結果凡例

荒廃状況 その 1 (深掘・侵食といった登山道の荒廃状況) ● 重度の洗掘・侵食 (幅3m以上、深さ・段差1m以上) ● 中度の洗掘・侵食 (幅2~3m、深さ・段差0.6~1m) ● 軽度の洗掘・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)	
荒廃状況 その 2 (水たまりや野営痕跡の状況) ● 多行困難な水たまり・ぬかるみ ● 野営指定外に野営痕跡あり	
荒廃状況 その 3 (刈払い等日常的な登山道維持管理に係る状況) ● 軽度のヤブ化 (ルート不明確) ● 倒木あり ● 中度のヤブ化 (歩行に支障あり)	
整備状況 (木道や石組といった登山道施設の整備・維持管理状況) ● 老朽化した木道 ● その他の木道 ● 機能していない階段・石組 ● その他の階段・石組 ● 老朽化した木橋 ● その他の木橋、ロープほか	
通行止状況 (調査実施とは異なる。状況見直し時変更による通行止は含まず) ● アクセス林道通行止 ● アクセス林道要領ゲート ● 登山道ほか区間通行止	

資料源：万子標高図(旧) 国土院地籍院の一画使用
 座標系：(測地系) 投影系：(JGD2K系) UTM系(Zone54N)
 0 1cm=250m 500 1:25,000 1000 1:1
 図：分割図D2 < II 表大雪地域 1/4 >
 路線(3) [No. 5層雲峡黒岳林道口-黒岳七合目直下]



上川・東川自然保護官事務所
沼ノ平姿見の池線道路、層雲峡勇駒別線道路 維持管理業務

東川自然保護官事務所
登山道補修セミナー開催

南部森林室
森林巡視

東川自然保護官事務所
中岳裾合平線歩道整備工事

山樂舎 BEAR
環境保全登山・登山道
整備ツアー

大雪山パークボランティア
登山道ロープ張り、標柱ペイント、
裾合平にテナー6基試験施工

②裏旭野営指定
旭岳ピーク

NPO 法人ねおす 大雪山自然学校

①東川町大雪山国立公園保護協会 「自然保護対策業務」

②東川町青少年野営場 運營業務

③ガイドウォーク、エコツアー、教育旅行、子供向け環境教育プログラムの実施 ※資料7参照

東川エコツーリズム推進協議会
・姿見園地でミニガイドツアー
・勇駒別湿原でガイドウォーク

上川総合振興局 環境生活課
・夫婦階段補修
・旭岳石室携帯トイレブースドア補修

H25 調査結果凡例

● 状況 その1 (水害・侵食といった登山道の荒廃状況)

○ 軽度の荒廃・侵食 (幅3m以上、深さ1m以上)

○ 軽度の進行 (幅2~3m、深さ2~0.6m)

○ ①~⑨ 荒廃の進行が著しい箇所 (重度) が集中など

● 状況 その2 (水たまりや野営場所の状況)

○ 多行回廊が水たまり・あからみ、野営指定外に野営箇所あり

○ 荒廃した木道 (木道や石段といった登山道施設の整備・維持管理状況)

○ 荒廃した木道

○ 崩壊していない階段・石組

○ その他の木道

○ その他の階段・石組

○ その他不明な箇所

○ 通行止状況 (状況不明とは異なる、総合管理課による追加の通行止は含まず)

○ アクセス林道通行止

○ アクセス林道要路ゲート

○ 登山道ほかに区間通行止

○ 閉鎖箇所 (登山道管理課による)

資料 7 参照

資料 図1 25年大雪山調査結果、調査時、旭岳、白雲岳、勇駒別線、国土院の一部使用
標高表 (測地高、投影高) = (JGD72高、JIS75高) (JIS75高 Zone 54M)

0 1cm=250m 500 1,250, 1000 1500 m

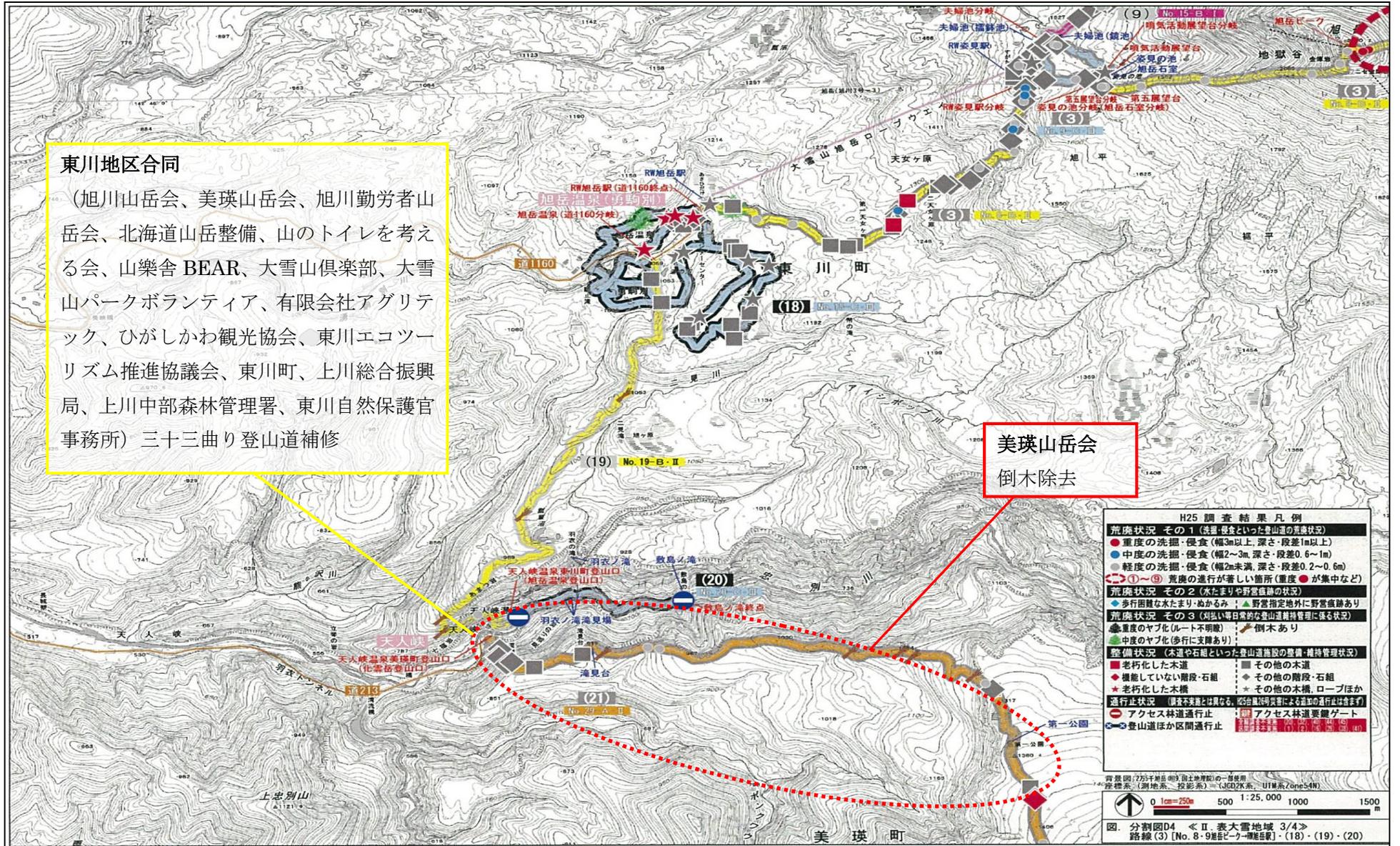
図 分割図03 <II 表大雪山地域 2/4>
路線 (3) [No. 6・7旭岳ピーク下-裾合平]・(9)・(11)・(12)

平成 26 年度 天人峡周辺 作業箇所

東川地区合同

(旭川山岳会、美瑛山岳会、旭川勤労者山岳会、北海道山岳整備、山のトイレを考える会、山樂舎 BEAR、大雪山倶楽部、大雪山パークボランティア、有限会社アグリテック、ひがしかわ観光協会、東川エコツーリズム推進協議会、東川町、上川総合振興局、上川中部森林管理署、東川自然保護官事務所) 三十三曲り登山道補修

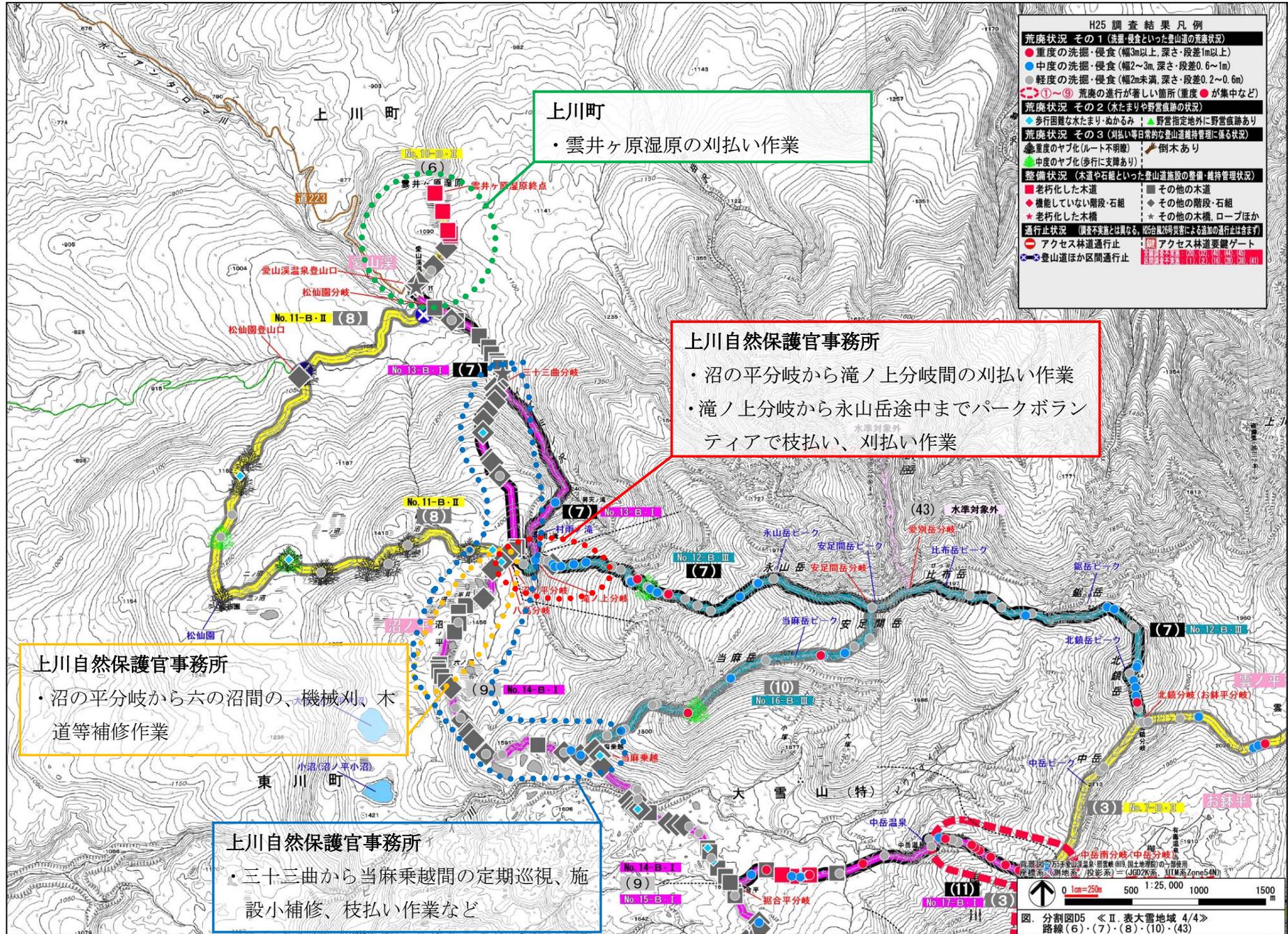
美瑛山岳会
倒木除去



H25 調査結果凡例	
荒廃状況 その1 (気候・侵食といった登山道の荒廃状況)	
● 重度の洗濯・侵食 (幅3m以上、深さ・段差1m以上)	
● 中度の洗濯・侵食 (幅2~3m、深さ・段差0.6~1m)	
● 軽度の洗濯・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)	
①~③ 荒廃の進行が著しい箇所 (重度●が集中など)	
荒廃状況 その2 (水たまりや野営痕跡の状況)	
● 歩行困難な水たまり・ぬかるみ ; ▲ 野営指定地外に野営痕跡あり	
荒廃状況 その3 (刈払い等日常的な登山道維持管理に係る状況)	
● 軽度のヤブ化 (ルート不明瞭) ; ● 倒木あり	
● 中度のヤブ化 (歩行に支障あり) ; ● 倒木あり	
整備状況 (木道や石組といった登山道施設の整備・維持管理状況)	
■ 老朽化した木道 ; ■ その他の木道	
● 機能していない階段・石組 ; ● その他の階段・石組	
★ 老朽化した木構 ; ★ その他の木構、ロープほか	
通行止状況 (気候不変等とは異なる、気候異変等による通行止も含む)	
○ アクセス林道通行止 ; ■ アクセス林道要領ゲート	
○ 登山道ほか区間通行止 ; ■ 通行止区間	

背景図：7万5千縮尺地形図(自土地理院)の写し
 座標系(測地系、投影系) = JGD2系、UTM系/Zone54N
 0.1cm=250m 500 1:25,000 1000 1500 m
 図. 分割図D4 < II. 表大雪地域 3/4 >
 路線(3) (No. 8・9) 旭川〜美瑛(道) (18) - (19) - (20)

平成 26 年度 愛山溪地区周辺 作業箇所



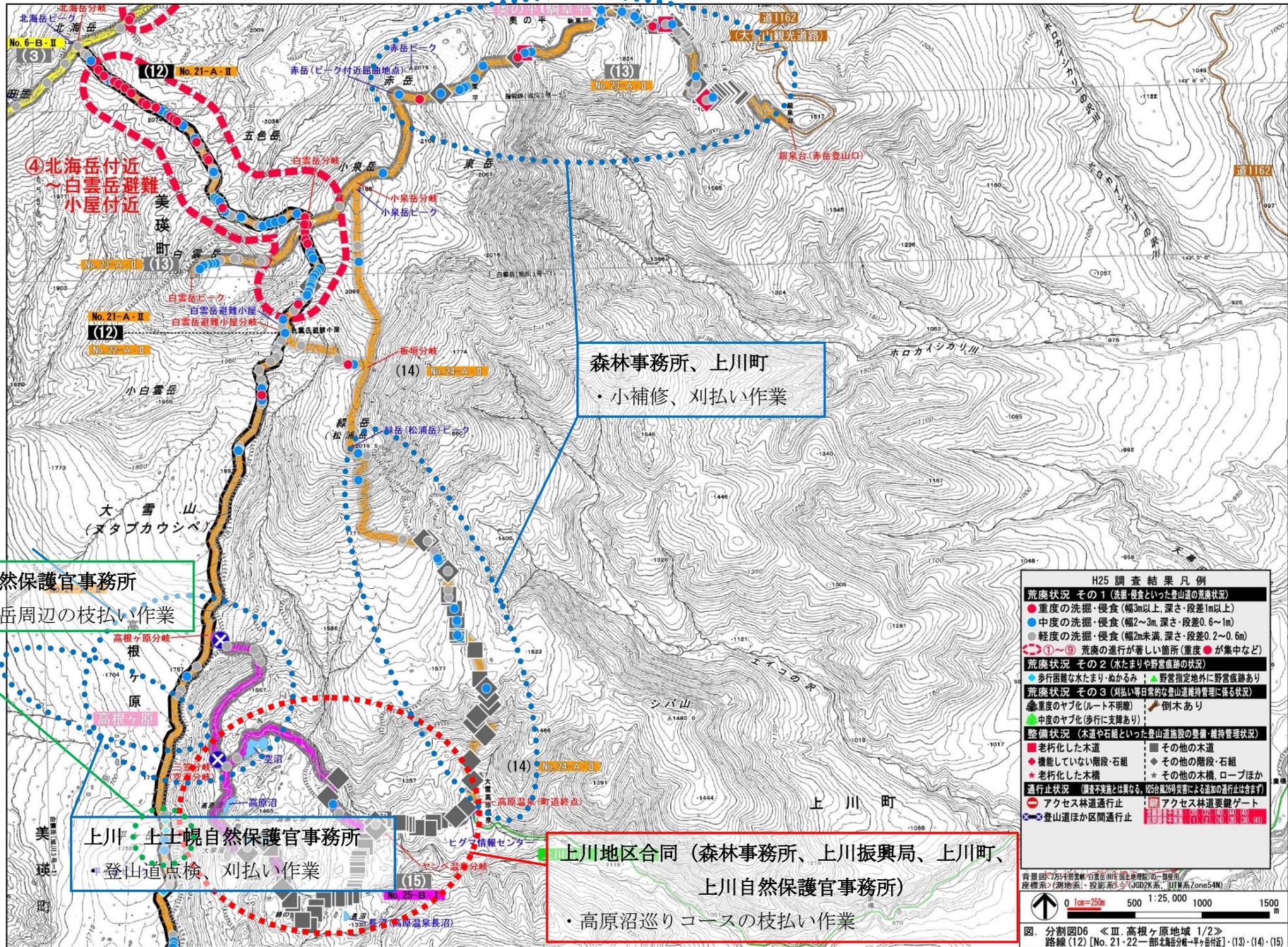
上川町
・雲井ヶ原湿原の刈払い作業

上川自然保護官事務所
・沼の平分岐から滝ノ上分岐間の刈払い作業
・滝ノ上分岐から永山岳途中までパークボランティアで枝払い、刈払い作業

上川自然保護官事務所
・沼の平分岐から六の沼間の、機械刈、木道等補修作業

上川自然保護官事務所
・三十三曲から当麻乗越間の定期巡視、施設小補修、枝払い作業など

平成 26 年度 高原温泉地区周辺 作業箇所



上川自然保護官事務所
・平ヶ岳周辺の枝払い作業

森林事務所、上川町
・小補修、刈払い作業

上川・土士幌自然保護官事務所
・登山道点検、刈払い作業

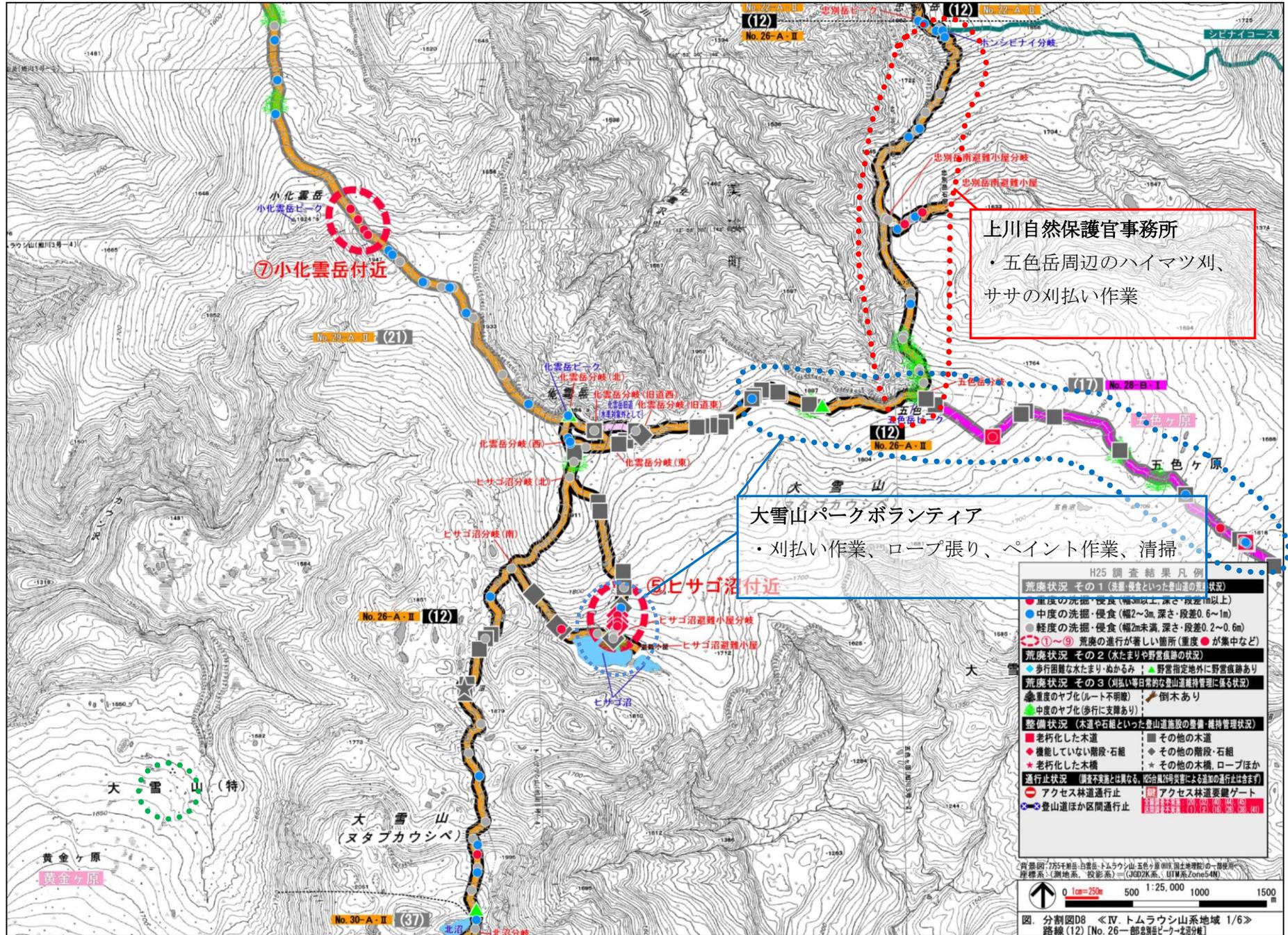
上川地区合同（森林事務所、上川振興局、上川町、
上川自然保護官事務所）
・高原沼巡りコースの枝払い作業

H25 調査結果凡例

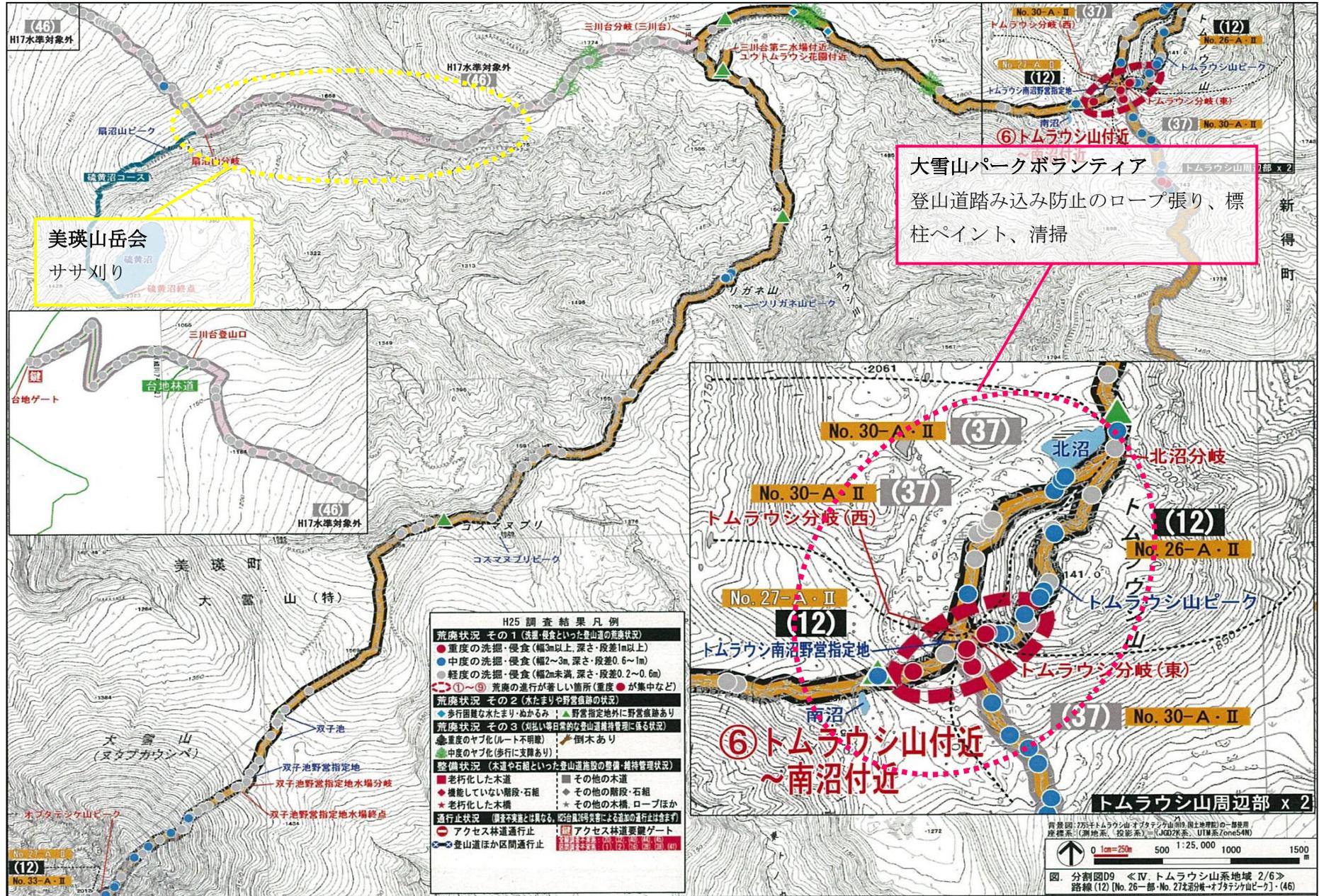
荒廃状況 その1 (洗掘・侵食といった登山道の荒廃状況)	
●	重度の洗掘・侵食 (幅3m以上、深さ・段差1m以上)
●	中度の洗掘・侵食 (幅2~3m、深さ・段差0.6~1m)
●	軽度の洗掘・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)
①~⑨	荒廃の進行が著しい箇所 (重度●が集中など)
荒廃状況 その2 (水たまりや野営痕跡の状況)	
●	多行困難な水たまり・ぬかるみ
▲	野営指定外に野営痕跡あり
荒廃状況 その3 (刈払い等日常的な登山道維持管理に係る状況)	
●	軽度のヤブ化 (歩行に支障不明)
●	倒木あり
●	中度のヤブ化 (歩行に支障あり)
整備状況 (木道や石組といった登山道施設の整備・維持管理状況)	
■	老朽化した木道
■	その他の木道
◆	機能していない階段・石組
◆	その他の階段・石組
★	老朽化した木橋
★	その他の木橋、ロープほか
通行止状況 (調査不実施とは異なる。把握が不明瞭による追加の通行止は含まず)	
⊘	アクセス林道通行止
⊘	アクセス林道要領ゲート
⊘	登山道ほか区間通行止

背景図：万葉経緯度行書局(国土地理院)の提供
産標系(測地系)：投影系：JGD2K系、UTM系(Zone54N)
0 1cm=250m 500 1:25,000 1000 1500 m
図. 分割図D6 <Ⅲ 高根ヶ原地域 1/2>
路線(12) No. 21・22一部(北海道分岐-平ヶ岳道)・(13)・(14)・(15)

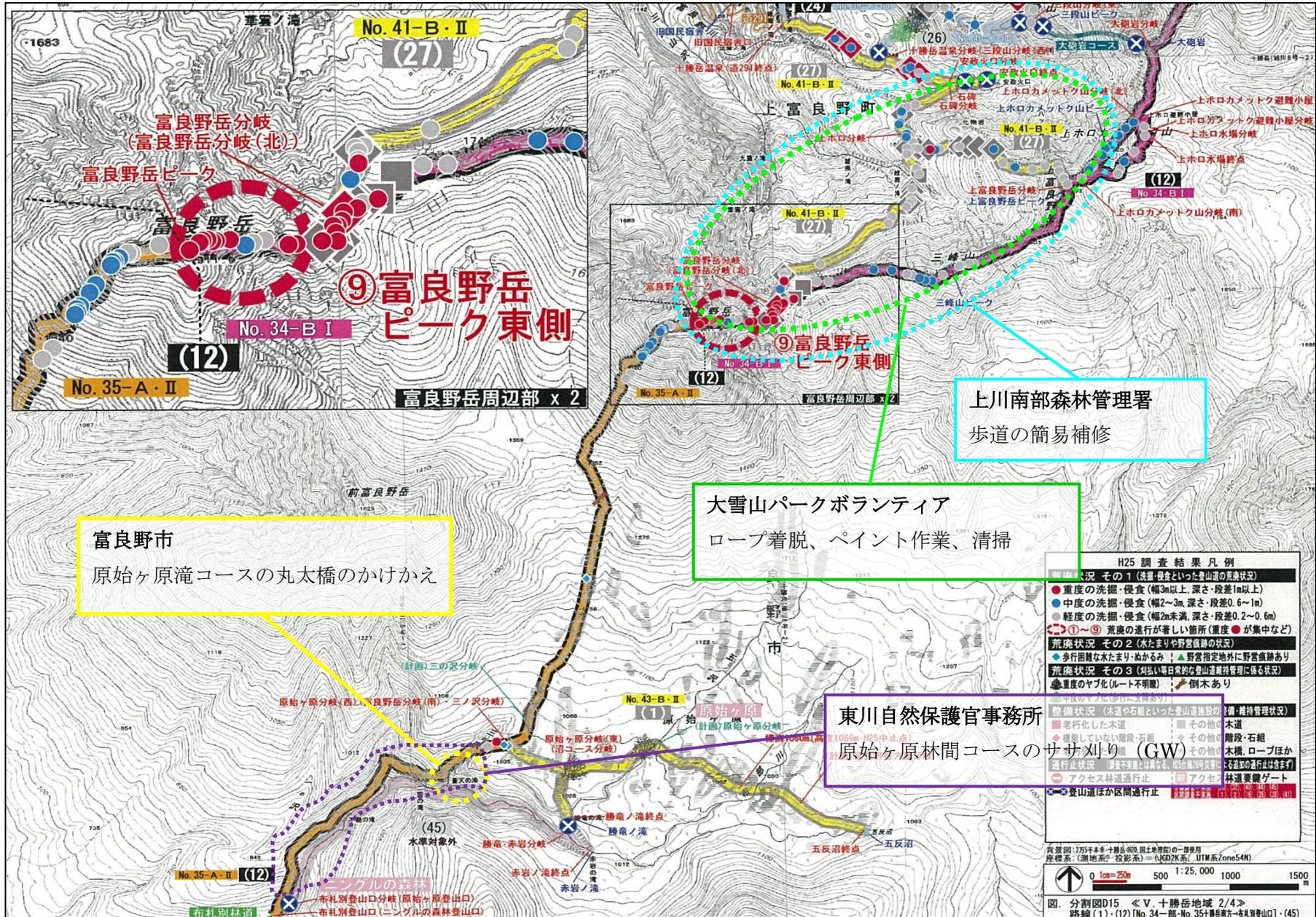
平成 26 年度 五色岳地区周辺 作業箇所



平成 26 年度 三川台・トムラウシ山周辺 作業箇所



平成 26 年度 富良野岳周辺 作業箇所



平成 26 年度 音更山地区周辺 作業箇所

